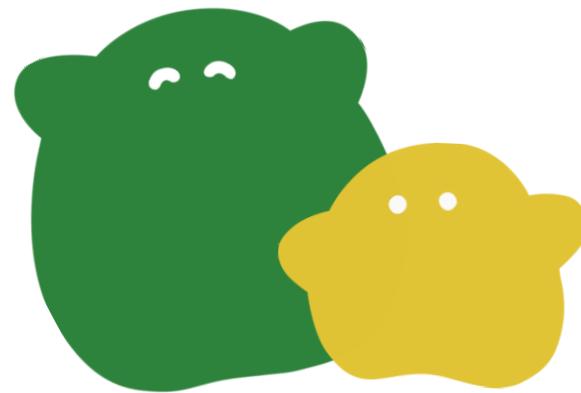
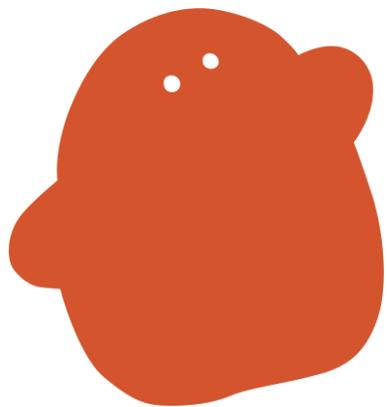




アイ
アイ



2026年3月期 第1四半期
決算プレゼンテーション資料



① トップメッセージ

03 - 09

② 連結決算概況

10 - 16

③ アイフル決算概況

17 - 24

④ グループ各社決算概況

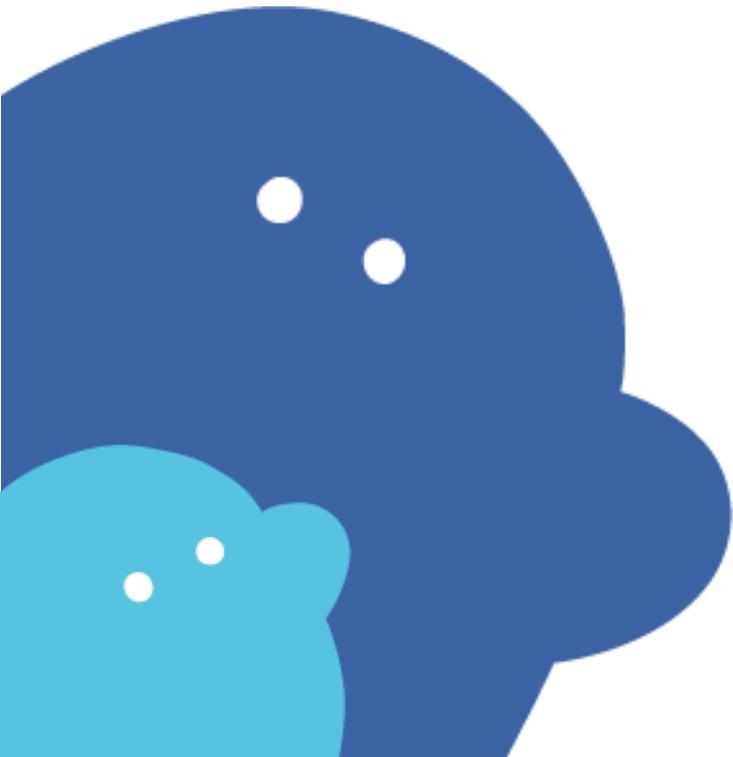
25 - 33

⑤ 参考資料

34 - 42

(参考) 中期経営計画

<https://www.aiful.co.jp/group/ir/pdf/MP2024.pdf>



① トップメッセージ



【連結】2026年3月期 第1四半期

- 主力事業が好調に推移し、営業債権残高・営業収益は2桁成長を継続
- 各利益指標も順調に進捗（P5参照）

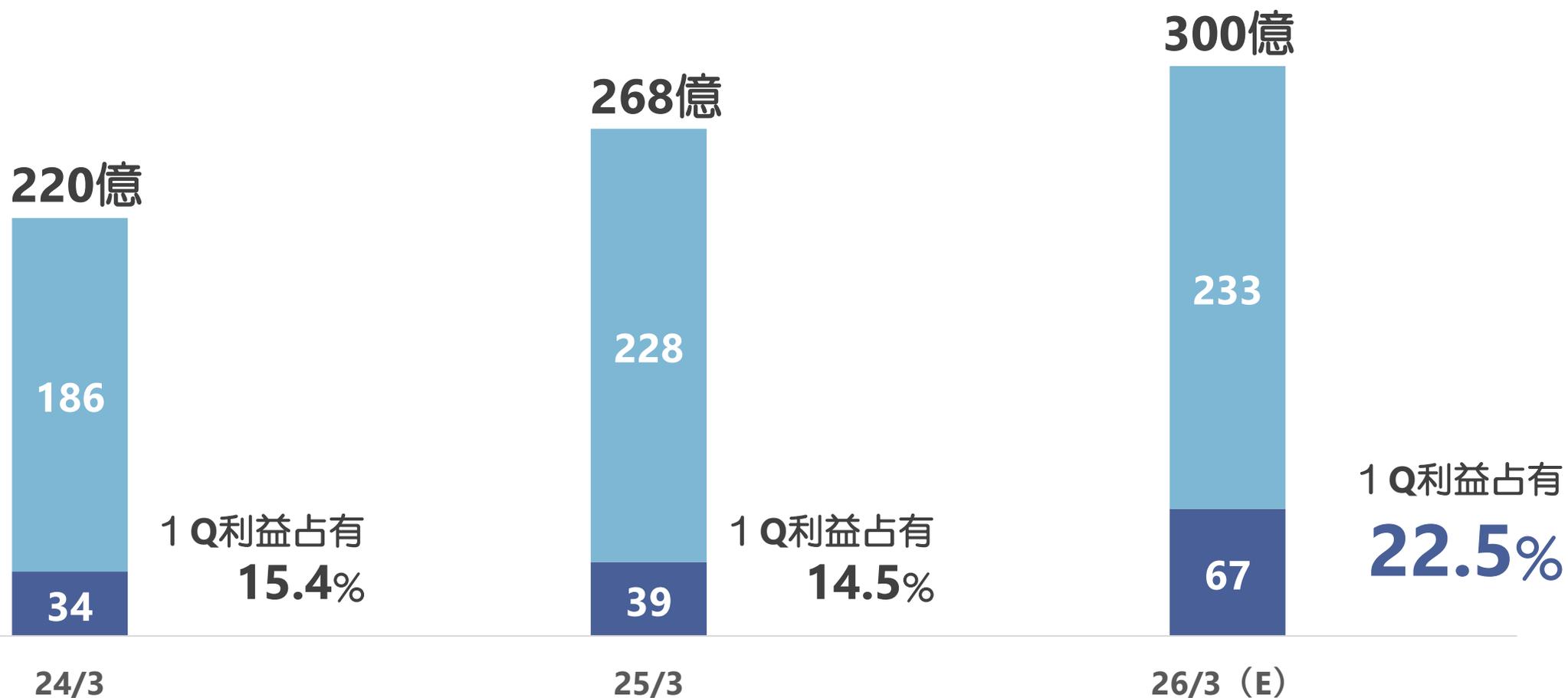
（億円）	24/6	25/6	前年同期比 増減率	26/3(E)	前期比 増減率
営業債権残高	12,139	13,765	13.4%	14,930	11.4%
営業収益	446	516	15.7%	2,107	11.4%
営業利益	37	72	92.1%	295	16.6%
経常利益	39	67	72.7%	300	11.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	37	40	7.7%	238	5.7%
調整後営業利益*	67	84	26.2%	-	-

*調整後営業利益の定義：①営業利益 + ②利益調整（貸倒関連費用+利息返還関連費用+減価償却費-貸倒損失）+ ③M&A利益（個社営業利益（のれん償却未考慮））



【連結】計画進捗（経常利益）

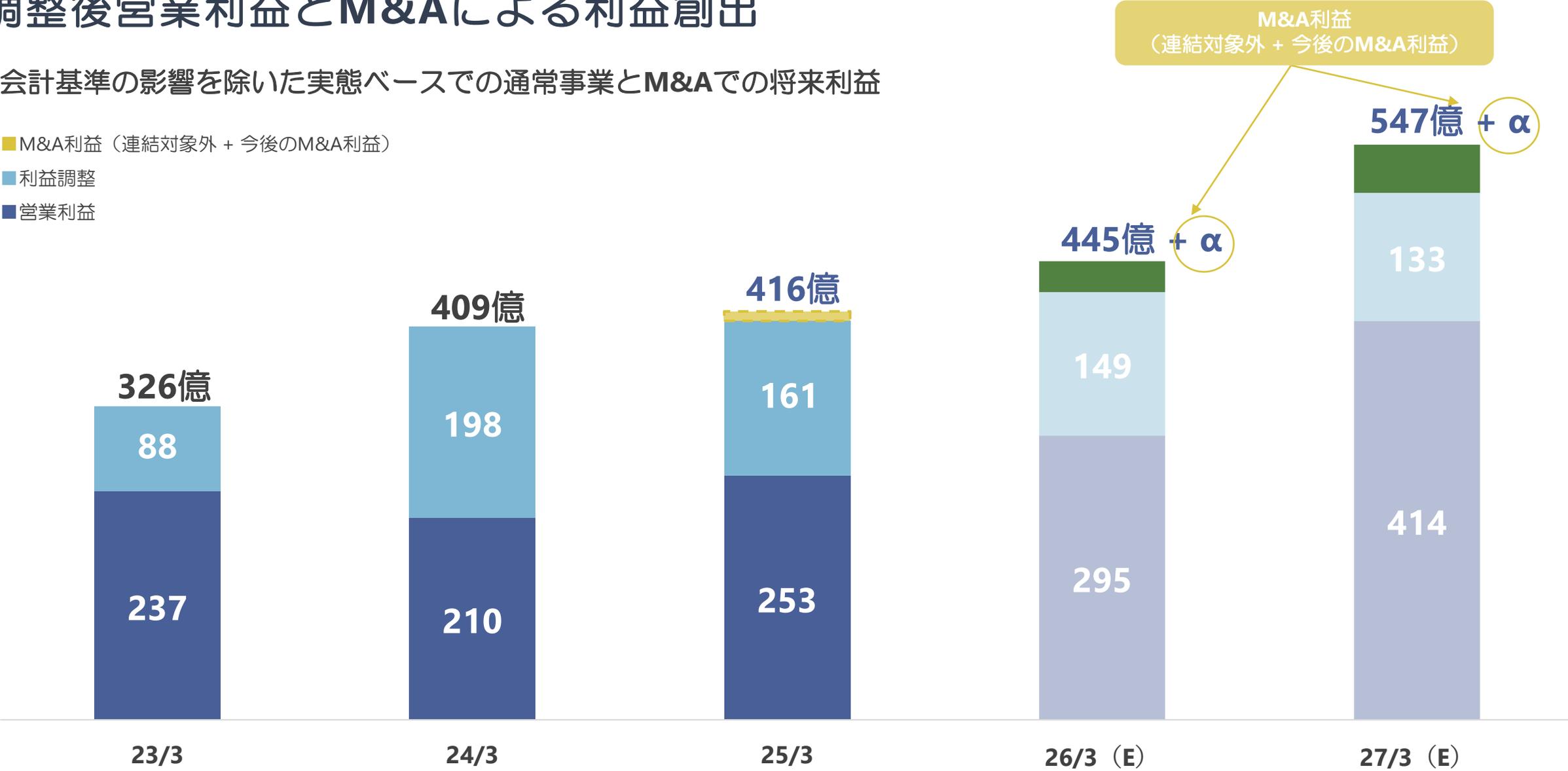
- 貸倒関連費用の影響により、利益計画は下期ウェイトが高い傾向
- 1Q経常利益は計画通りに進捗



調整後営業利益とM&Aによる利益創出

会計基準の影響を除いた実態ベースでの通常事業とM&Aでの将来利益

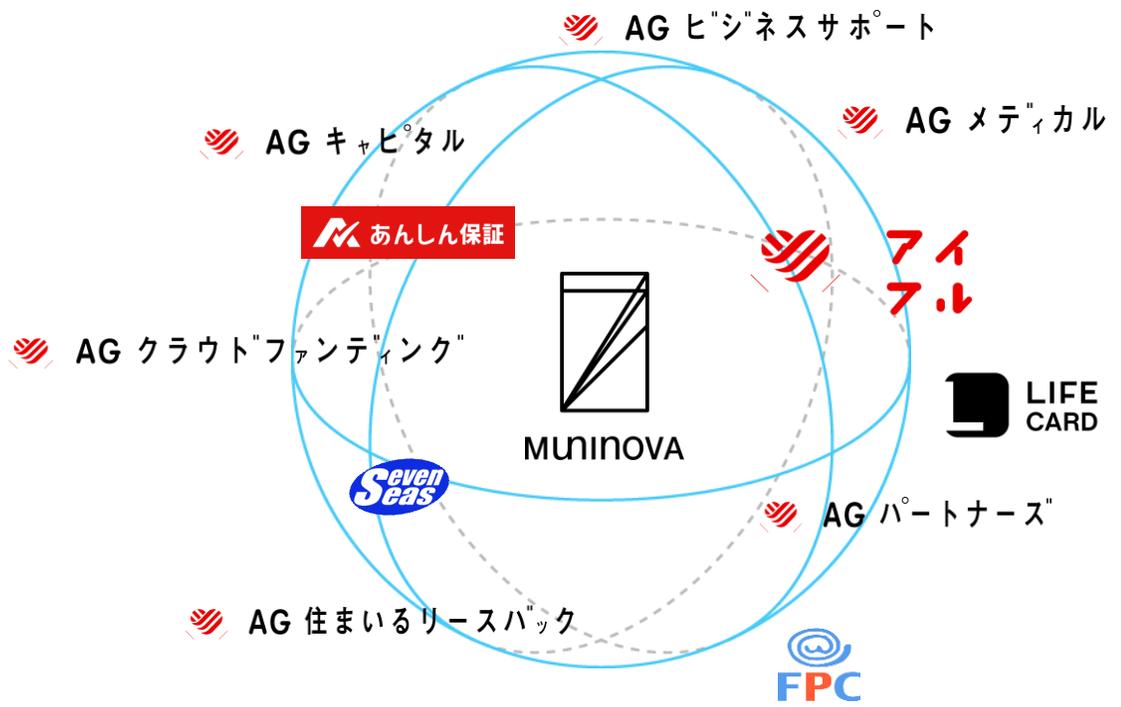
- M&A利益 (連結対象外 + 今後のM&A利益)
- 利益調整
- 営業利益



計算定義：①営業利益 + ②利益調整 (貸倒関連費用+利息返還関連費用+減価償却費-貸倒損失) + ③連結対象除くM&A利益 (M&A利益は個社営業利益 (のれん償却未考慮))

ムニノバホールディングス

2026/4/1より移行



目的

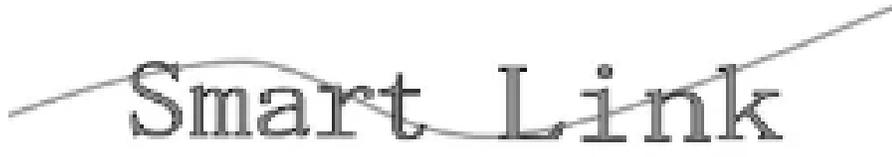
- 既存事業の利益向上
- M&Aによる利益拡大
- 事業多角化の推進

方針

各事業分野の自律的な経営促進と
グループを横断した統制機能強化の両立

SES事業

SES事業者2社のM&A



中間持株会社体制への移行完了

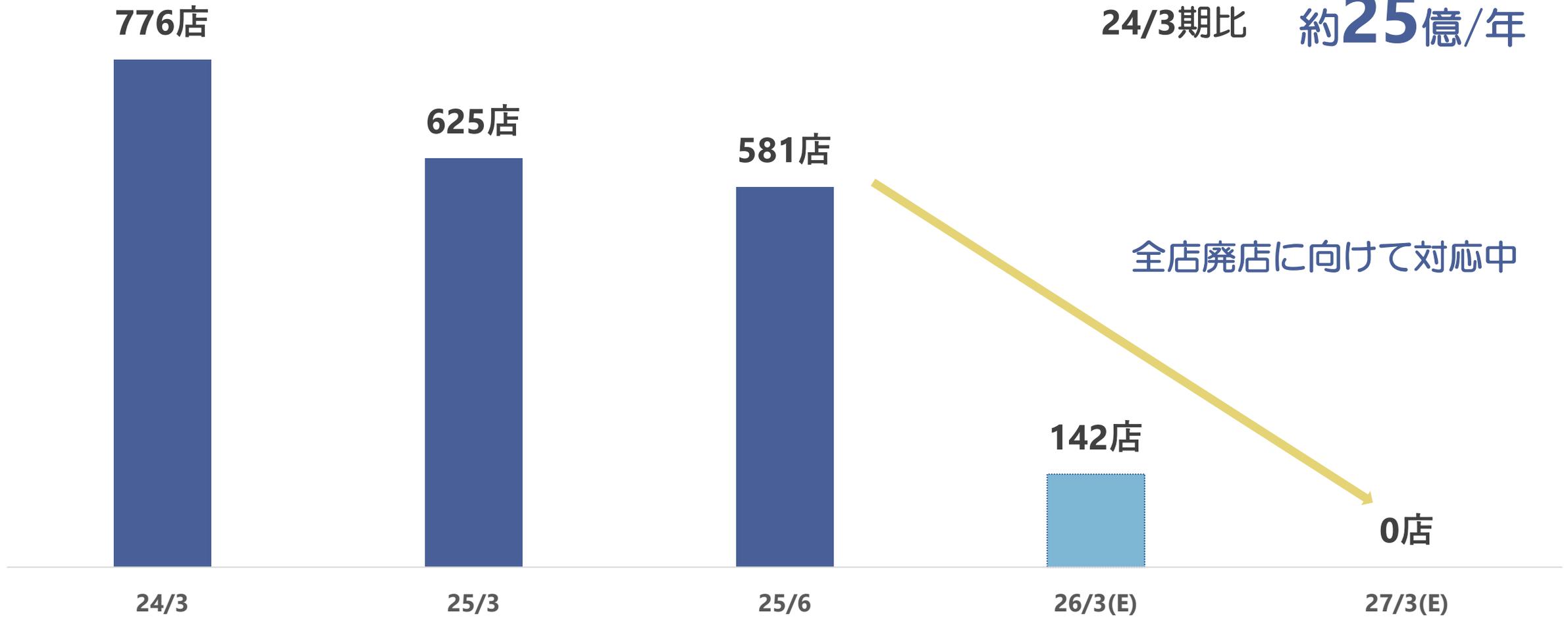
AGソリューションテクノロジーが
グループのSES事業全5社の株式を保有

- ✓ 経営管理・バックオフィス等の集約による経営効率の向上
- ✓ 各社の特徴や強みを活かし、SES/ITエンジニアリング事業を推進



コスト削減（無人店舗の廃店）

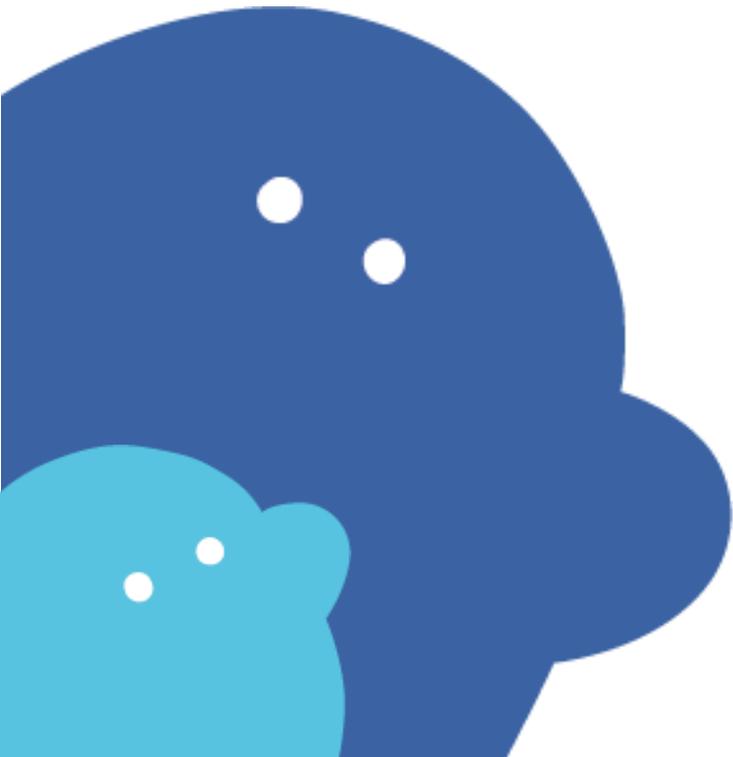
無人店舗数の推移



全店廃店後の想定効果

24/3期比 約**25**億/年

全店廃店に向けて対応中



2 連結決算概況

【連結】決算概要・通期計画（残高・収益）



（億円）	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3(E)	前期比 増減率
営業債権残高	12,139	13,397	13,765	13.4%	14,930	11.4%
ローン事業 （海外含む）	7,563	8,152	8,298	9.7%	8,789	7.8%
クレジット事業 （クレジットカード・個品）	1,796	2,033	2,086	16.1%	2,368	16.5%
信用保証事業	2,517	2,916	3,085	22.6%	3,411	17.0%
その他事業	262	294	295	12.7%	360	22.2%
営業収益	446	1,890	516	15.7%	2,107	11.4%
ローン事業 （営業貸付金利息）	256	1,065	285	11.1%	1,158	8.6%
クレジット事業 （信用購入あっせん収益）	70	301	77	10.3%	346	14.8%
信用保証事業 （信用保証収益）	50	215	57	13.2%	236	9.6%
その他事業	67	307	95	40.3%	366	18.9%

【連結】決算概要・通期計画（費用・利益）

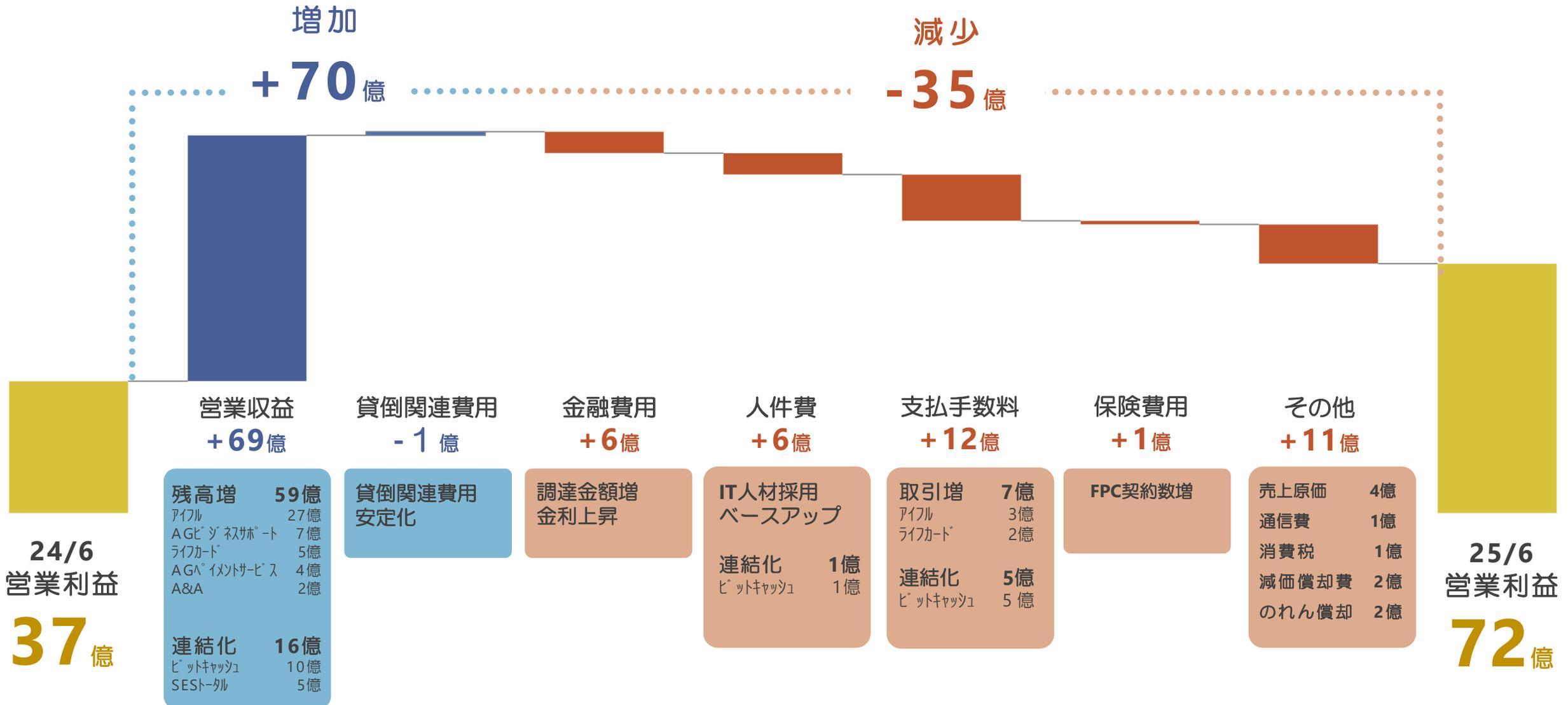


（億円）	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3（E）	前期比 増減率
営業収益	446	1,890	516	15.7%	2,107	11.4%
営業費用	408	1,637	443	8.6%	1,811	10.6%
金融費用	22	95	28	27.5%	131	37.7%
貸倒関連費用	157	569	155	-0.8%	558	-1.9%
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	-
広告宣伝費	44	185	45	1.5%	200	7.8%
人件費	52	216	58	12.0%	245	12.9%
その他費用（支払手数料・販売促進費等）	131	570	154	27.6%	675	18.3%
営業利益	37	253	72	92.1%	295	16.6%
経常利益	39	268	67	72.7%	300	11.9%
特別損失	-	25 ^{※1}	1 ^{※2}	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	225	40	7.7%	238	5.7%

*1 システム関連/フィッシング詐欺等の特別損失を計上

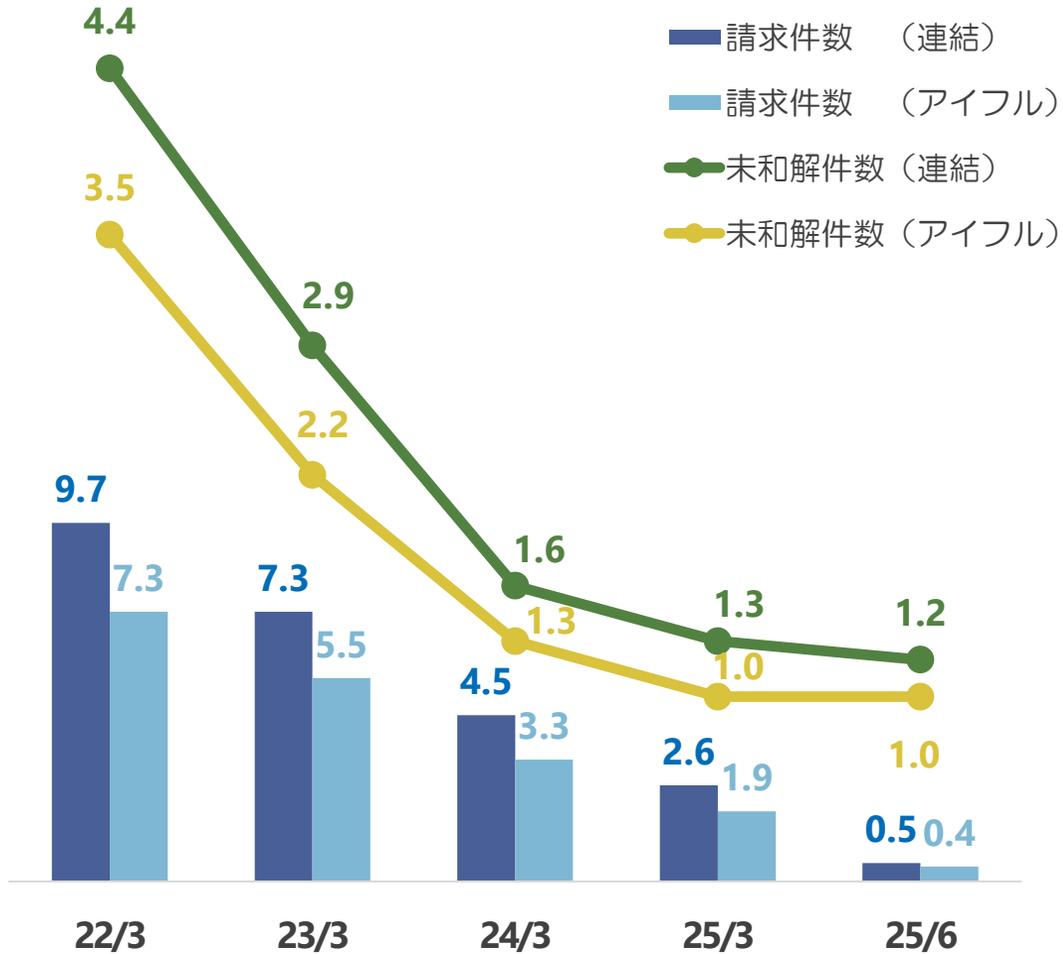
*2 AIRA&AIFULの事業再構築費用（リストラ関連費用等）

【連結】営業利益 差異要因 (2026/3期1Q 前年同期比)

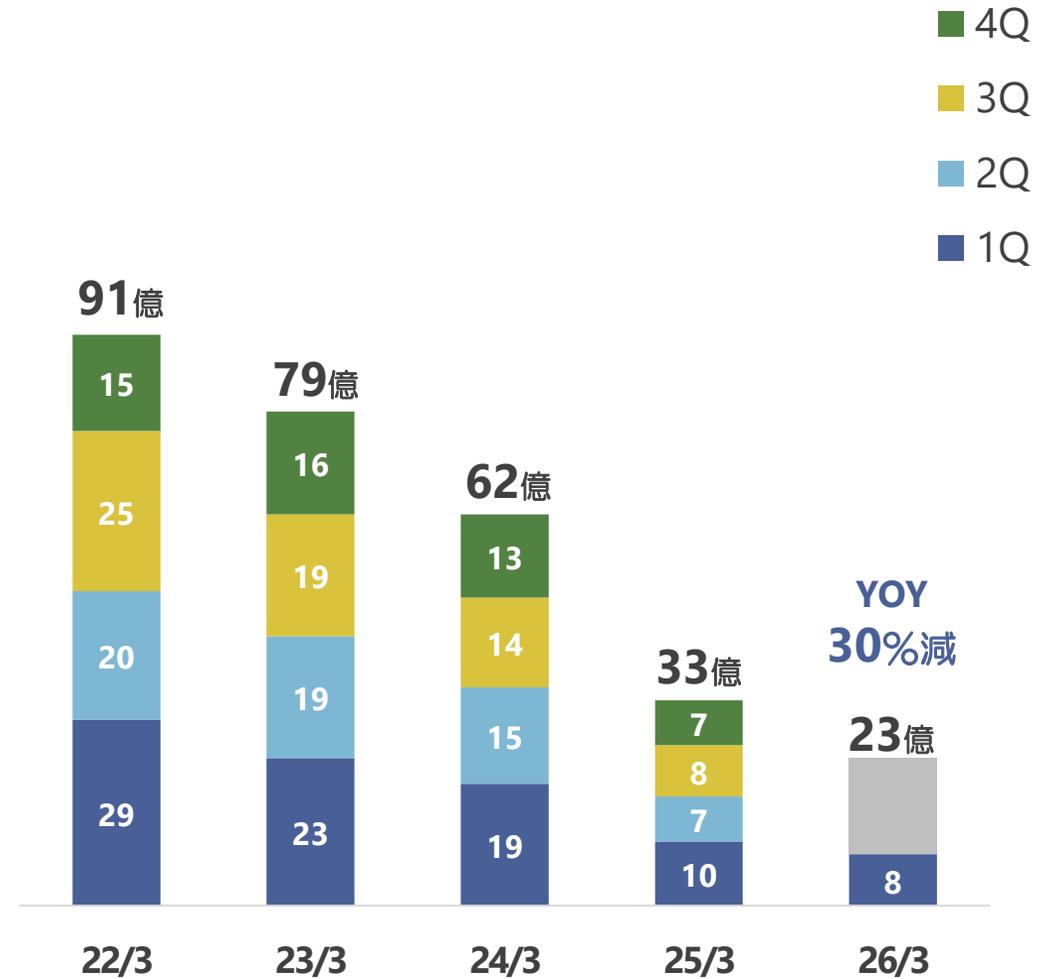


【連結】利息返還の推移（足元の状況）

利息返還請求件数（千件）



発生額・取崩額（連結）

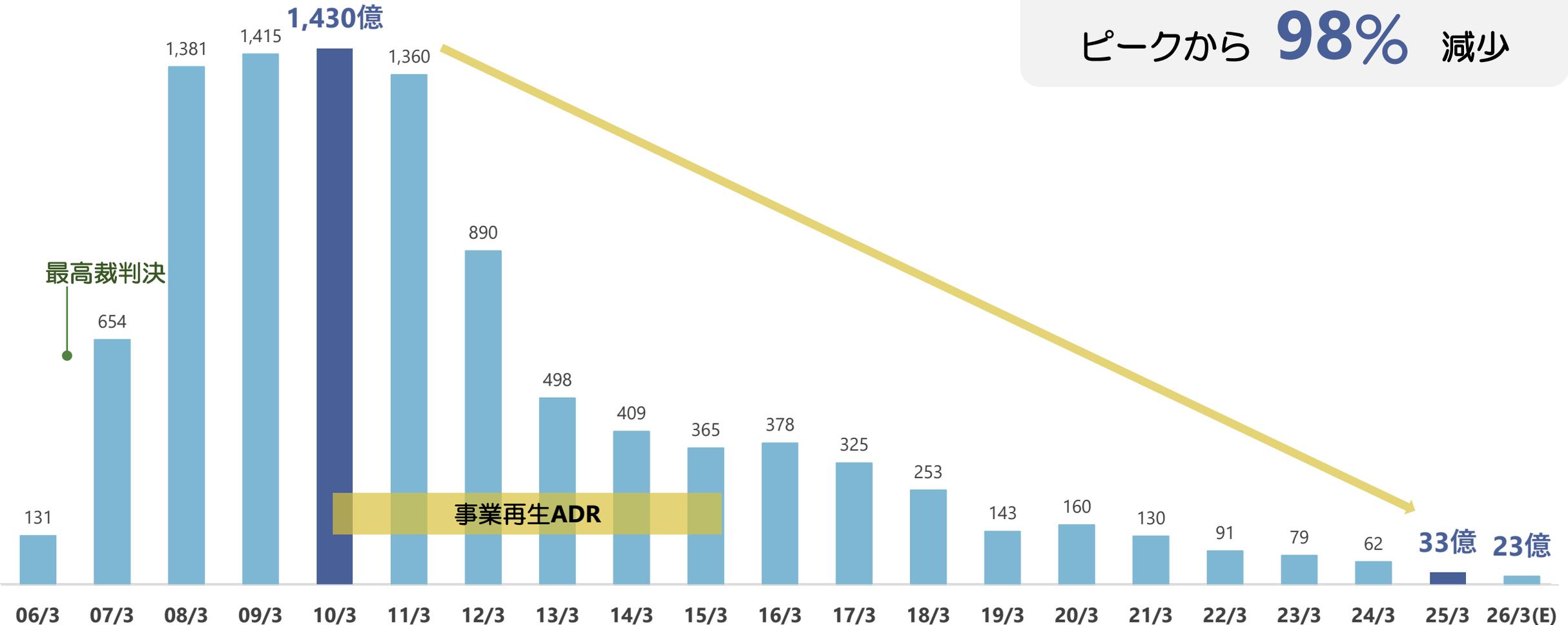


【連結】利息返還の推移

(億円)

■ 利息返還+債権放棄

貸金業法完全施行



IT人材戦略

ITエンジニアを増やすメリット

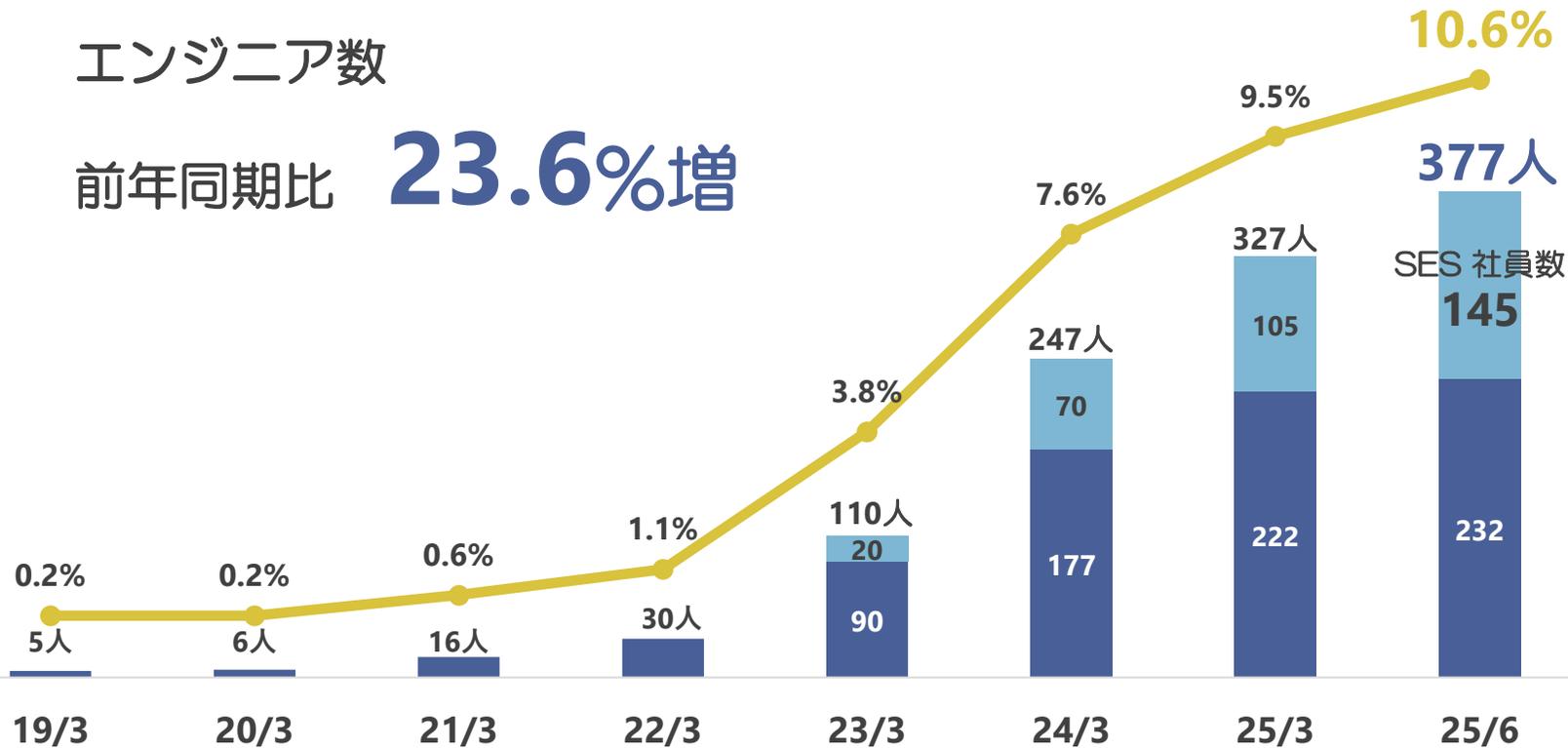
- ・ プロダクト改善スピード 
- ・ システムコスト 

フルスクラッチ開発を目指す

社員占有率
25%

エンジニア数

前年同期比 **23.6%増**



SES 社員数
145

めざす姿



③ アイフル決算概況

【アイフル】 営業実績・通期計画



(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業債権残高	814,747	894,844	925,767	13.6%	994,200	11.1%
ローン事業	575,882	614,222	627,688	9.0%	662,400	7.8%
信用保証事業	223,492	263,613	280,785	25.6%	312,700	18.6%
貸付量	73,194	290,549	79,164	8.2%	-	-
新規顧客	13,700	49,554	11,939	-12.9%	-	-
既存顧客	59,494	240,995	67,224	13.0%	-	-
貸倒損失額	9,156	28,388	10,146	10.8%	30,600	7.8%
貸倒率	1.1%	3.2%	1.1%	0.0Pt	3.1%	-0.1Pt

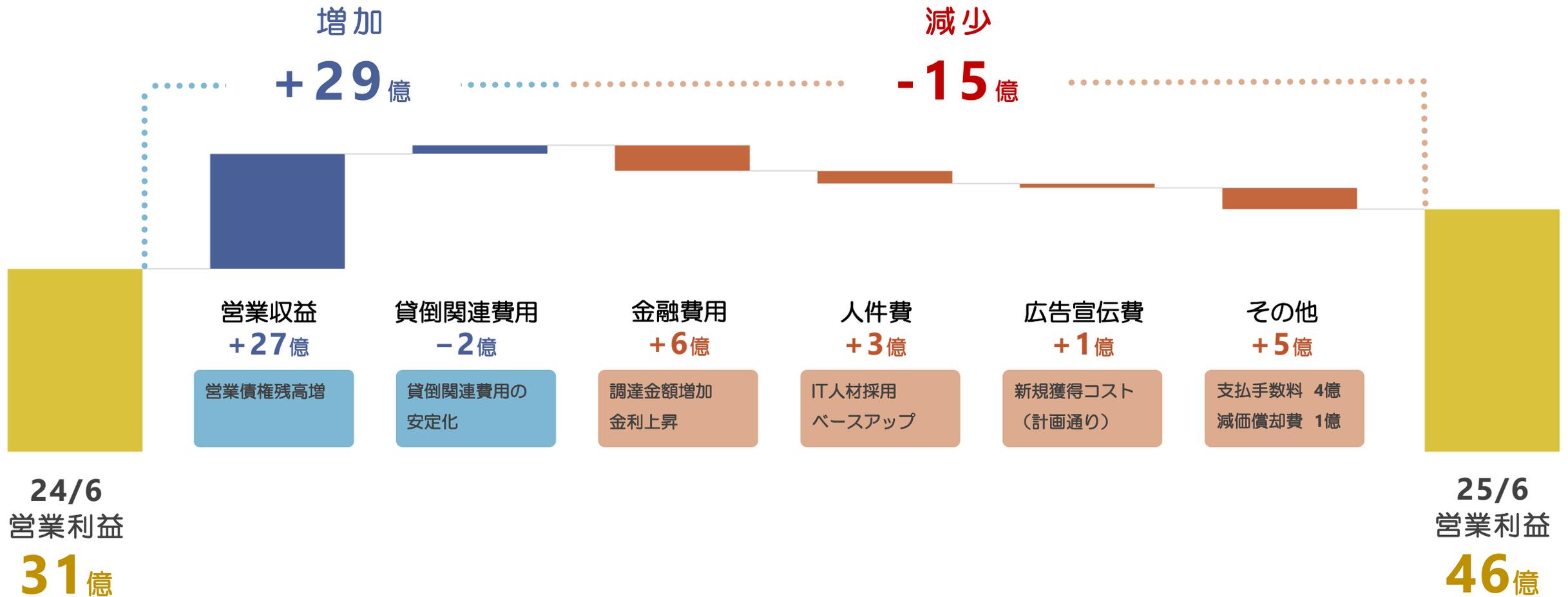
【アイフル】 決算概要・通期計画



(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業収益	26,432	110,158	29,220	10.5%	119,000	8.0%
ローン事業（営業貸付金利息）	20,519	85,603	22,835	11.3%	92,500	8.1%
信用保証事業（信用保証収益）	3,908	16,198	4,446	13.8%	18,200	12.4%
債権譲渡益[連結相殺対象]	-	492	-	-	1,000	103.3%
その他営業収益	2,004	7,863	1,937	-3.3%	7,200	-8.4%
営業費用	23,276	89,766	24,576	5.6%	99,000	10.3%
金融費用	1,729	7,392	2,299	33.0%	10,800	46.1%
貸倒関連費用	10,278	35,174	10,068	-2.0%	36,200	2.9%
広告宣伝費	3,631	15,007	3,689	1.6%	14,900	-0.7%
人件費	2,887	11,932	3,174	9.9%	13,900	16.5%
その他費用	4,749	20,259	5,343	12.5%	23,000	13.5%
営業利益	3,156	20,391	4,644	47.2%	19,900	-2.4%
経常利益	4,335	23,996	5,732	32.2%	24,200	0.8%
特別損失	-	3,144※	0	-	-	-
当期純利益	4,036	19,562	4,030	-0.1%	20,300	3.8%

*システム関連/フィッシング詐欺/グループ会社引当金関連等の特別損失を計上

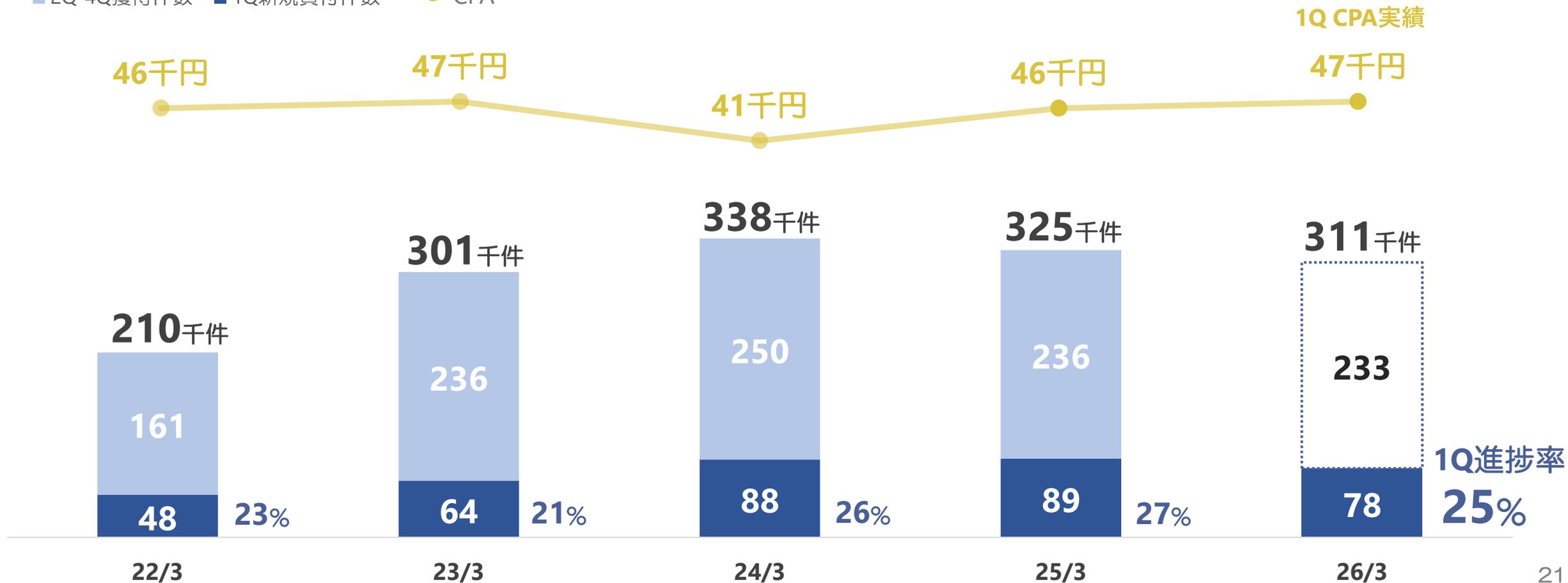
【アイフル】 営業利益 差異要因 (2026/3期1Q 前年同期比)



【アイフル】個人向け無担保ローン事業／新規獲得とCPAの相関

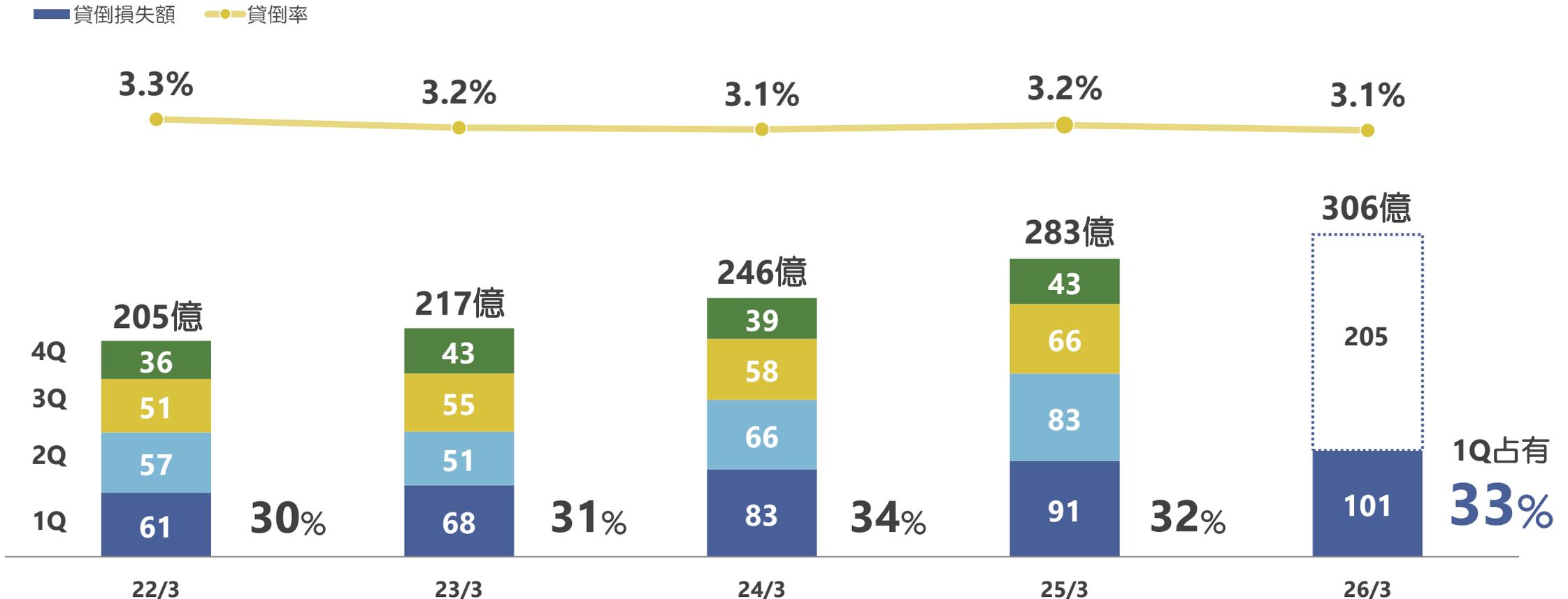
- 新規件数は通期計画に対して進捗率25%と順調に推移
- 1件あたり獲得単価（CPA）も想定通り

■ 2Q-4Q獲得件数 ■ 1Q新規貸付件数 ● CPA



【アイフル】 貸倒損失

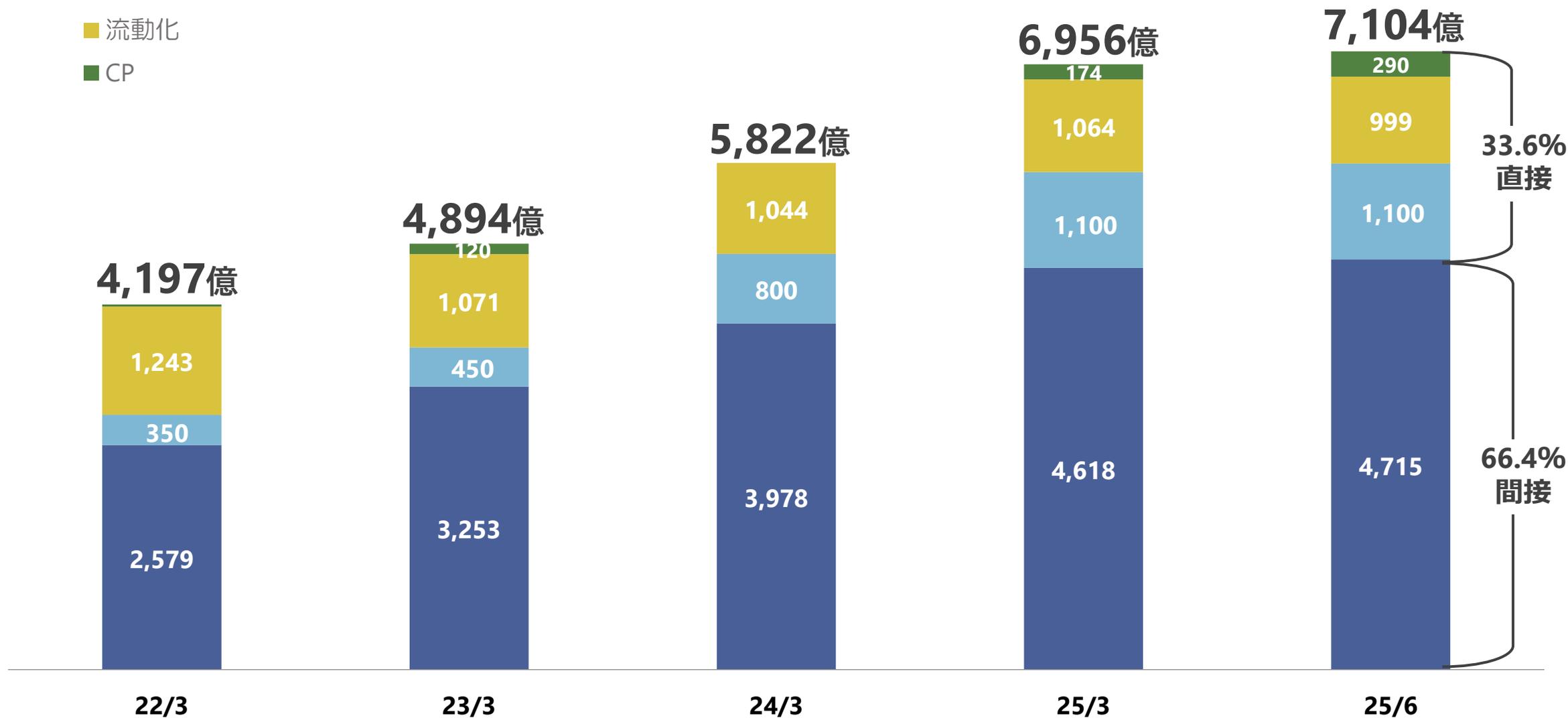
- 年間貸倒率は3%前半と低位安定で推移する見通し
- 期末に向かって回収が進み、四半期毎の貸倒損失（1Q：101億）が、4Qに向けて減少
- 貸倒関連費用も同様の傾向があるため、利益は下期偏重となる（上期利益<下期利益）





【アイフル】資金調達金額

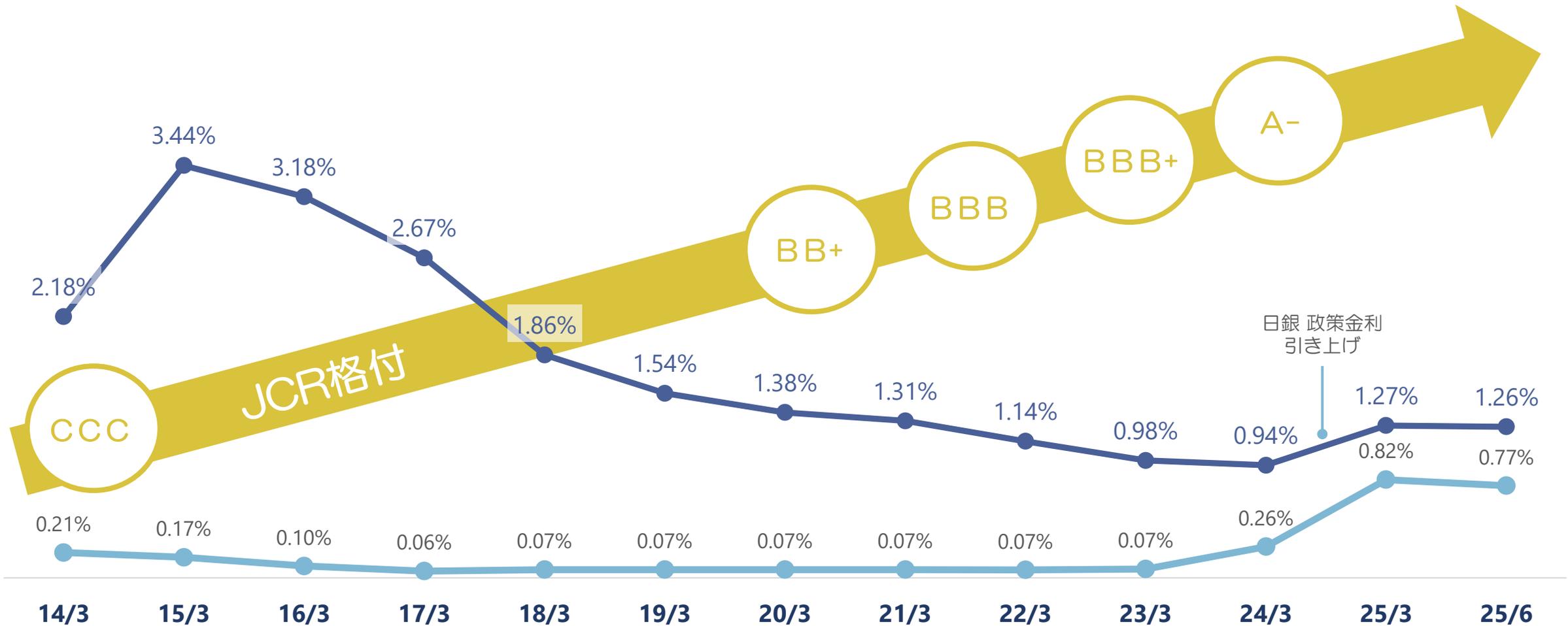
- 金融機関等
- 社債
- 流動化
- CP

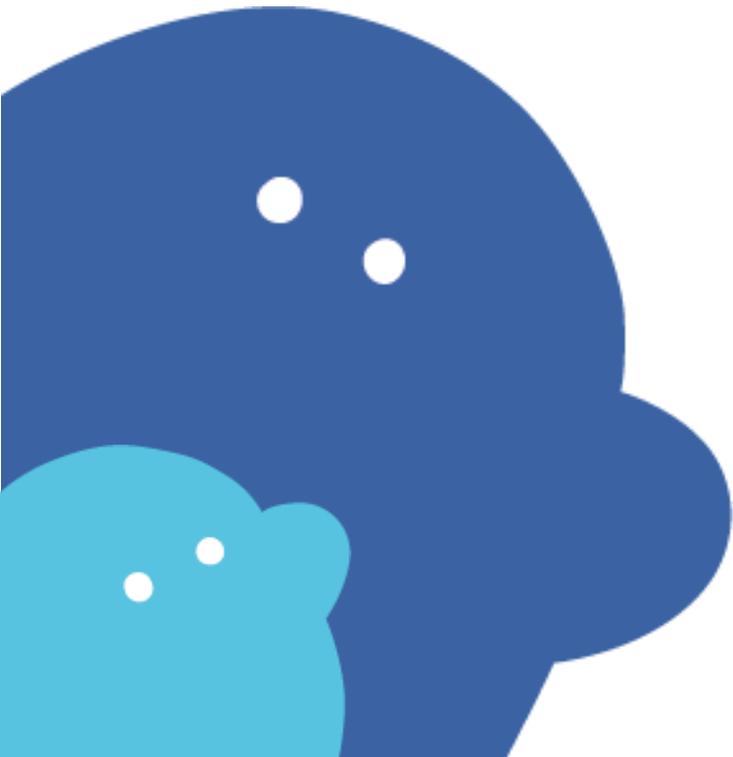


【アイフル】 資金調達金利推移

● 調達金利

● TIBOR (3カ月)



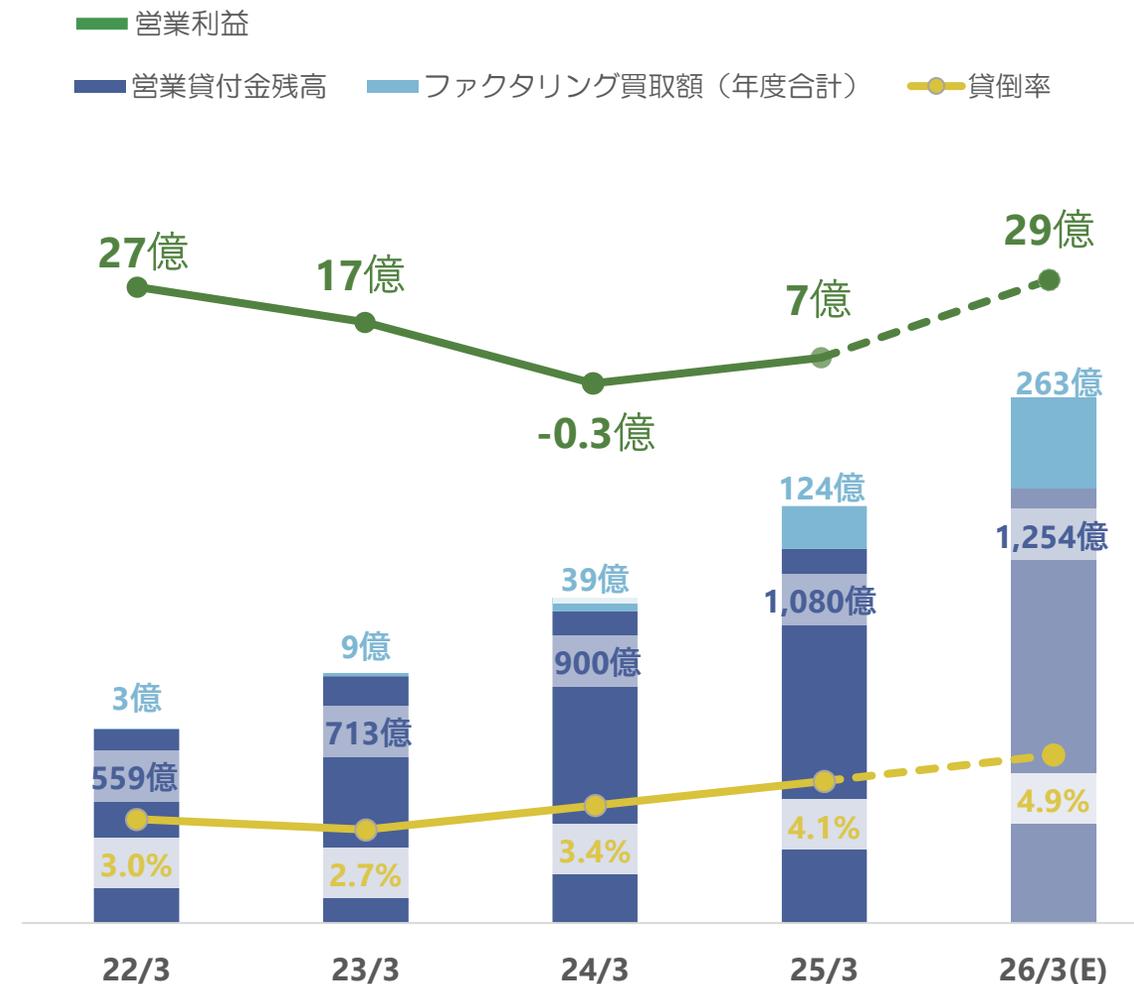


④ グループ各社決算概況

【ローン】AGビジネスサポート（有担保・事業性ローン/ファクタリング）

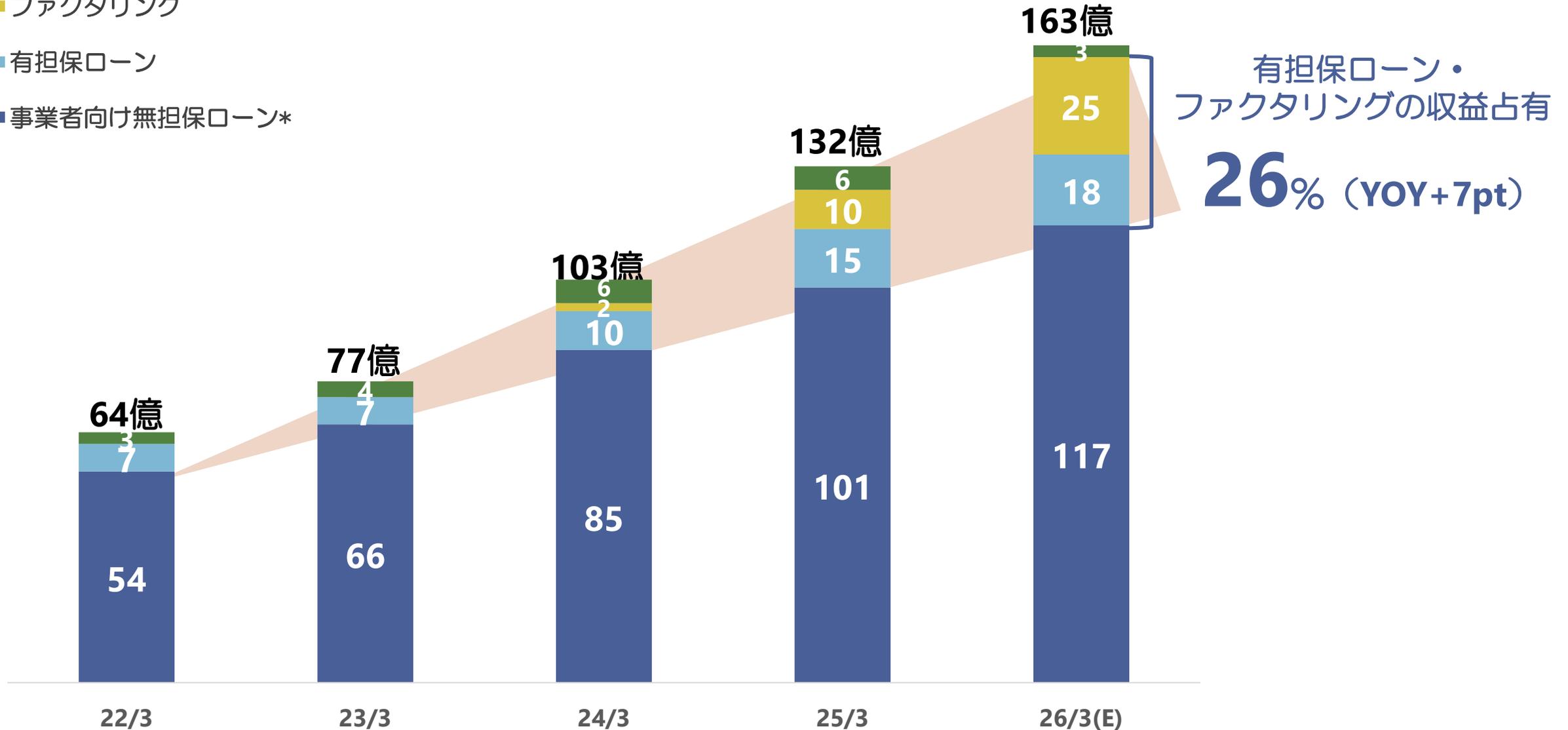
- 新規獲得や営業貸付金残高の増加が順調、ファクタリングも寄与
- 貸倒関連費用の構造により利益は下期のウェイトが高く、当年度計画はオンライン

(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業貸付金残高	94,059	108,009	111,301	18.3%	125,400	16.1%
新規獲得件数（件）	2,663	10,348	2,486	-6.6%	9,600	-
口座数（千件）	35	39	40	13.5%	-	-
営業収益	3,000	13,285	3,744	24.8%	16,300	22.7%
ローン収益	2,030	8,274	2,309	13.7%	-	-
ファクタリング収益	145	1,030	429	194.5%	-	-
営業利益	25	734	519	-	2,900	294.7%
経常利益	30	746	519	-	2,900	288.3%
当期純利益	-58	534	246	-	1,700	218.0%



【ローン】AGビジネスサポート 収益ポートフォリオの変化

- ファクタリング
- 有担保ローン
- 事業者向け無担保ローン*

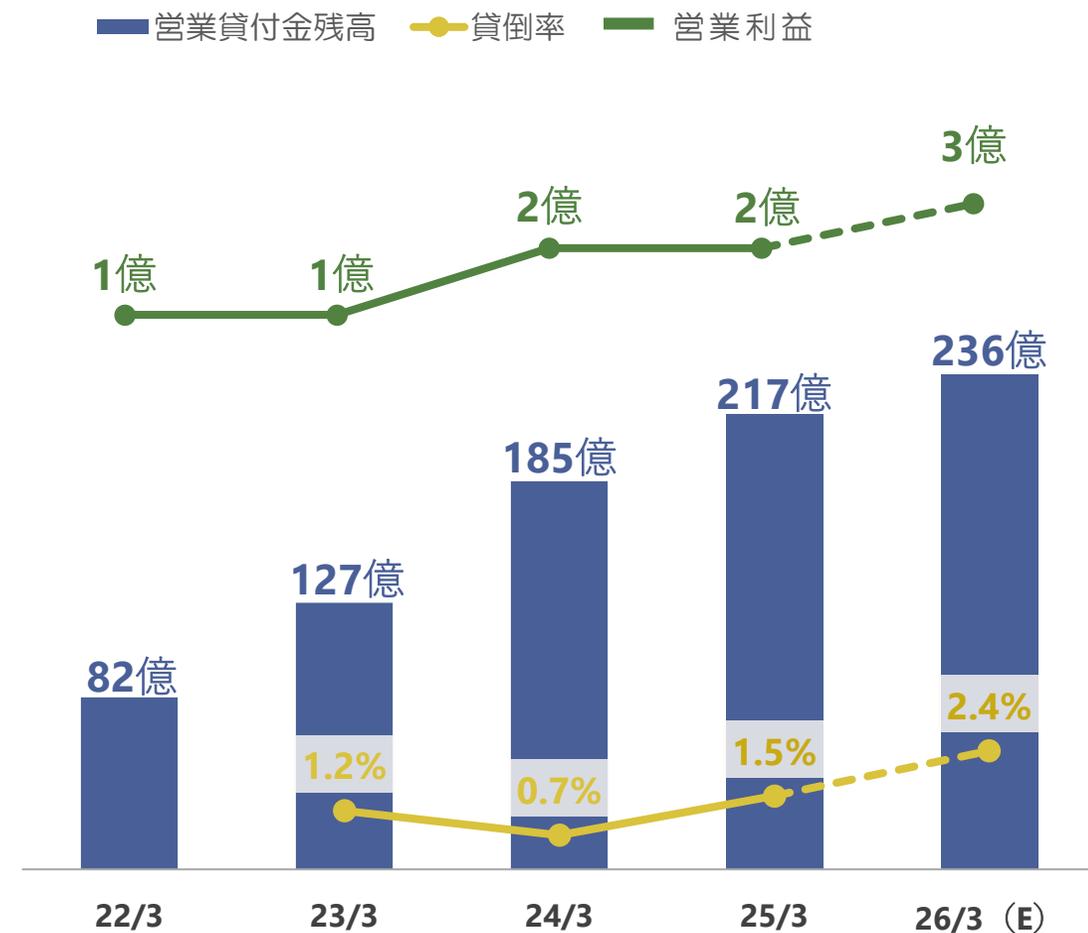


* 債権流動化でオフバランスした事業者向け無担保ローンの保証収益含む

【ローン】AGメディカル（診療報酬等担保ローン）

- 新規獲得件数・営業貸付金残高がともに拡大
- 好調なトップラインと回収環境から、当年度計画を捉える

(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業貸付金残高 (有担保ローン)	19,102	21,756	22,128	15.8%	23,600	8.5%
新規獲得件数（件） (有担保ローン)	89	422	100	12.4%	400	-
口座数（件）	1,029	1,239	1,296	25.9%	-	-
営業収益	418	1,772	501	19.8%	2,000	12.9%
営業利益	70	279	151	116.3%	300	7.2%
経常利益	70	279	151	116.3%	300	7.5%
当期純利益	12	143	105	754.4%	200	39.6%

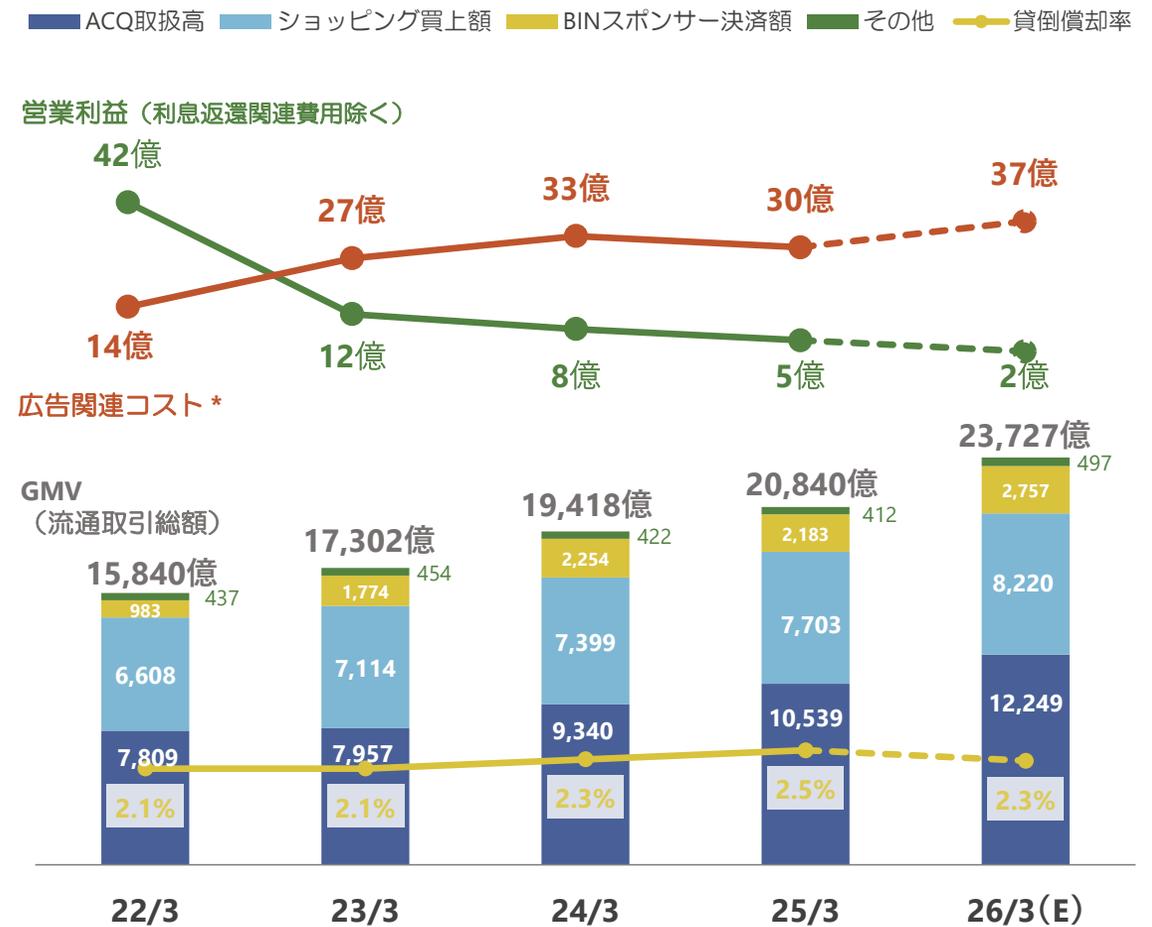


※ AGビジネスサポートより、診療報酬等担保ローン事業を2021年7月に承継
 （診療報酬等担保ローン・・・診療報酬等を担保とした医療機関や介護事業者等向けのローン）

【クレジット/ペイメント】ライフカード（クレジット）

- 若年層をメインターゲットに広告コストを投下中、GMV（流通取引総額）は継続して順調に拡大
- 金利収入のあるリボ・分割残高が増加、トップラインも拡大

(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
GMV 流通取引総額（億円）	4,899	20,840	5,387	10.0%	23,727	13.9%
リボ・分割 割賦売掛金残高（億円）	542	557	570	5.2%	-	-
新規発行枚数（千枚）	117	516	104	-11.1%	-	-
プロパーカード 稼働会員数（千人）	574	573	561	-2.2%	-	-
営業収益	9,514	38,545	10,047	5.6%	41,600	7.9%
営業利益	184	592	265	43.8%	200	-66.2%
経常利益	199	682	300	50.3%	200	-70.7%
当期純利益	429	772	-109	-	200	-74.1%

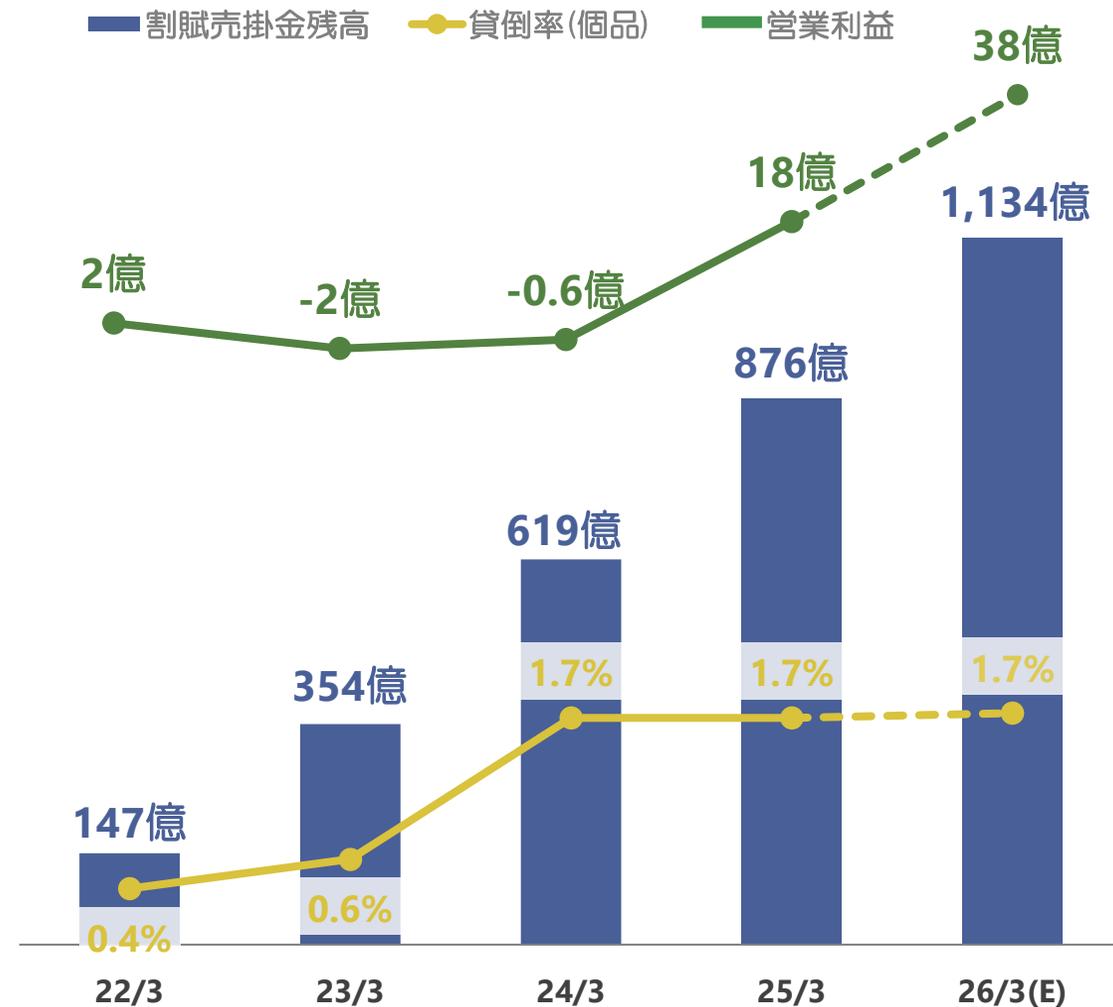


* 広告宣伝費と関連する販売促進費の合算

【クレジット/ペイメント】AGペイメントサービス（個別信用購入あっせん）

- 未稼働加盟店を精査・主要加盟店の取扱高増により、割賦売掛金残高が拡大
- 残高伸長による収益増、貸倒関連費用の構造により利益は下期のウェイトが高く、当年度計画はオンライン

(百万円)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
割賦売掛金残高 (個別信用購入あっせん)	69,565	87,699	95,066	36.5%	113,400	29.3%
加盟店数 (個別信用購入あっせん)	3,828	3,488	3,456	-9.7%	-	-
営業収益	1,790	7,806	2,242	25.2%	9,900	26.8%
営業利益	277	1,856	491	77.3%	3,800	104.6%
経常利益	277	1,858	491	76.8%	3,800	104.5%
当期純利益	175	1,286	367	109.5%	2,700	109.9%

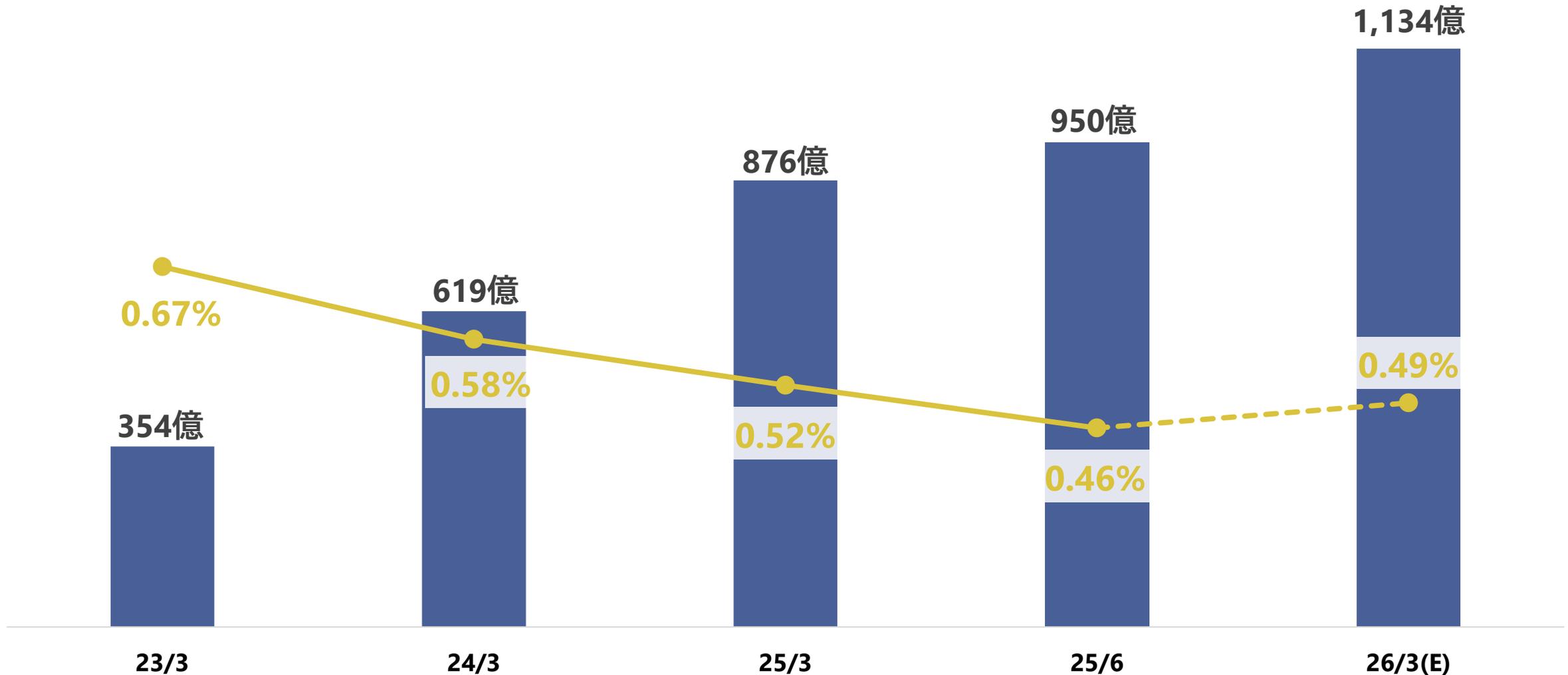


2024年1月にAGギャランティーとAGミライバライが合併、AGペイメントサービスに名称変更
過去実績は、合併ベースで表記

【クレジット/ペイメント】AGペイメントサービス 割賦売掛金残高と3カ月延滞率

■ 割賦売掛金残高(個別信用購入あっせん)

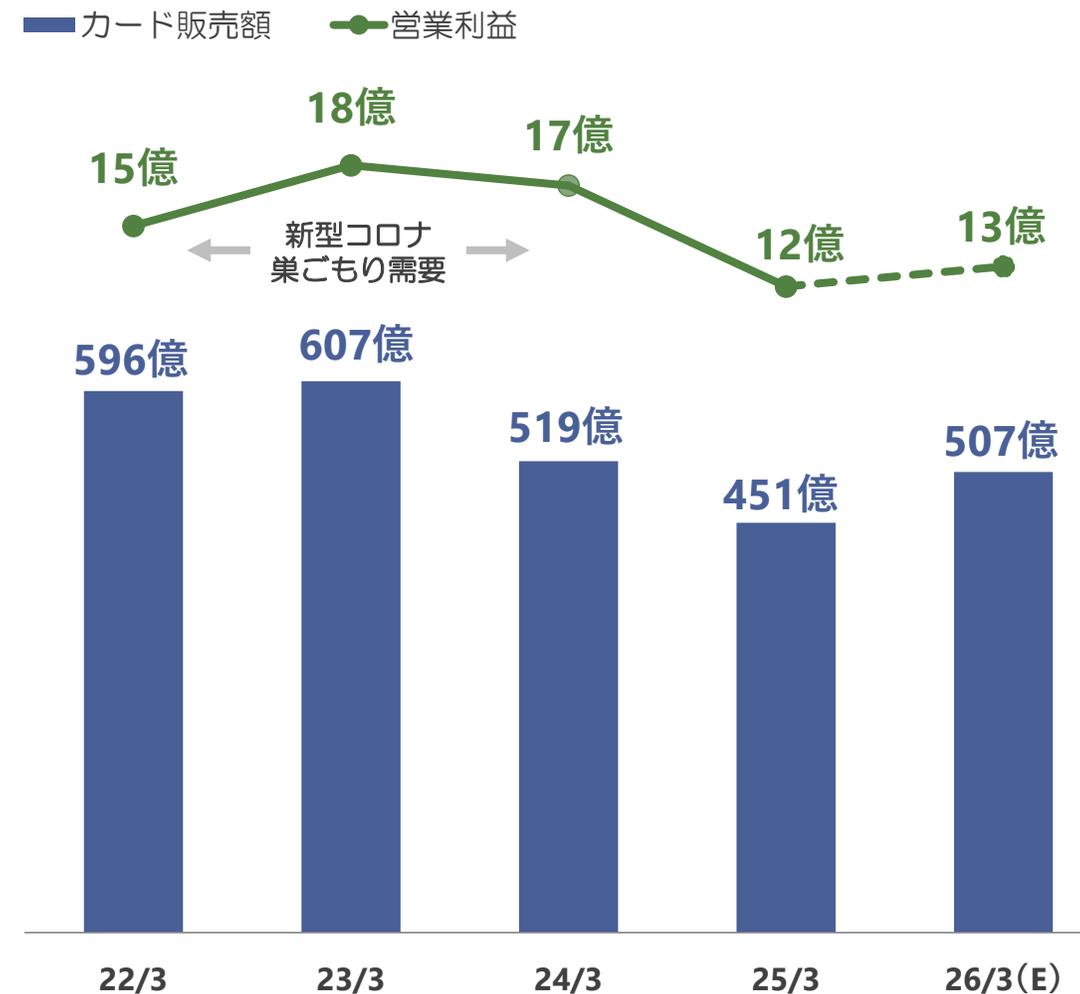
● 3カ月延滞率



【クレジット/ペイメント】ビットキャッシュ（プリペイド電子マネー）

- 加盟店管理を強化、決済額の減少影響はあるも、概ね計画オンライン
- 決済代行会社を活用した新規開拓を推進、カード販売・決済の拡大を見込む

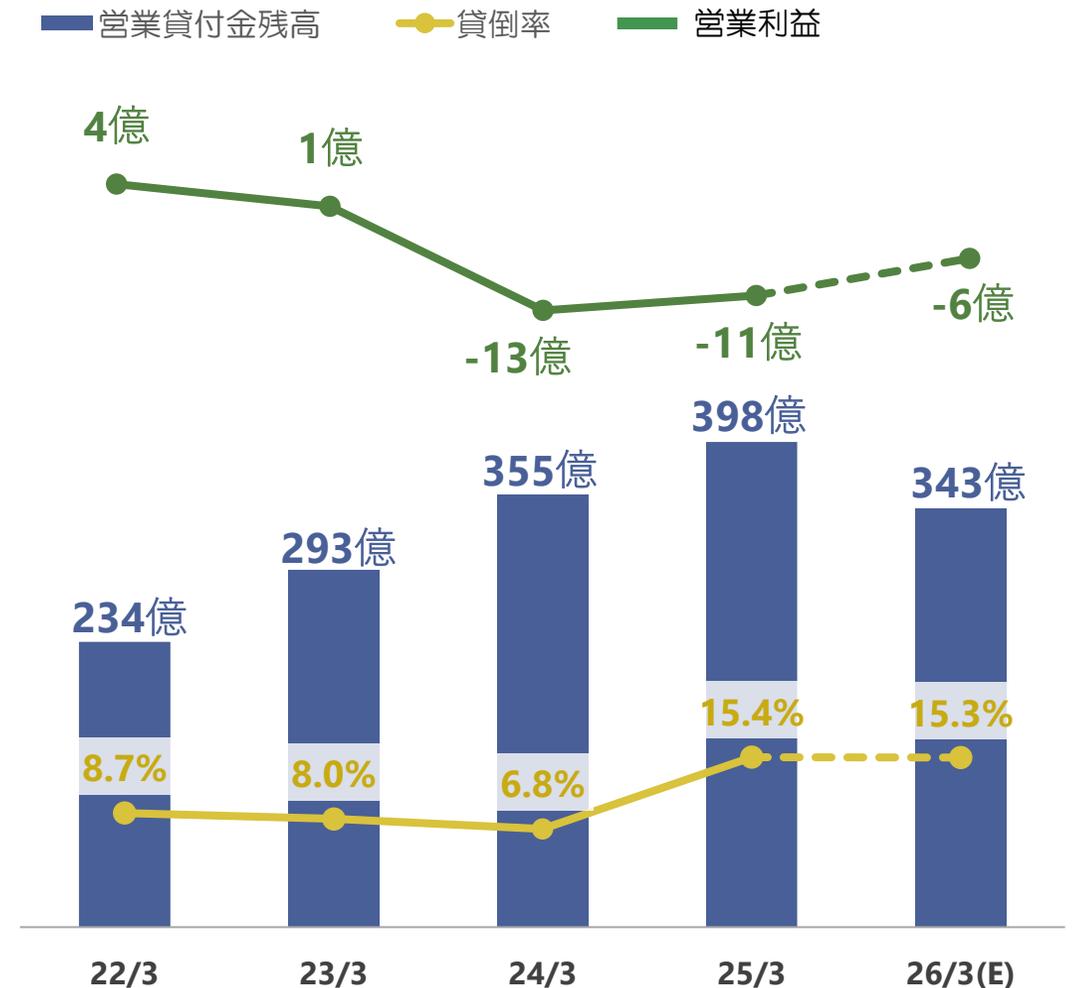
(百万円)	24/6	25/3 (12M)	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
カード販売額	11,726	45,196	11,111	-5.2%	50,700	12.2%
決済額	11,726	45,319	11,118	-5.2%	50,300	11.0%
営業収益	1,112	4,254	1,066	-4.2%	4,700	10.5%
受取手数料	995	3,830	952	-4.3%	-	-
営業利益	341	1,211	314	-8.0%	1,300	7.3%
経常利益	334	1,220	318	-5.0%	1,300	6.5%
当期純利益	215	785	204	-5.1%	800	1.8%

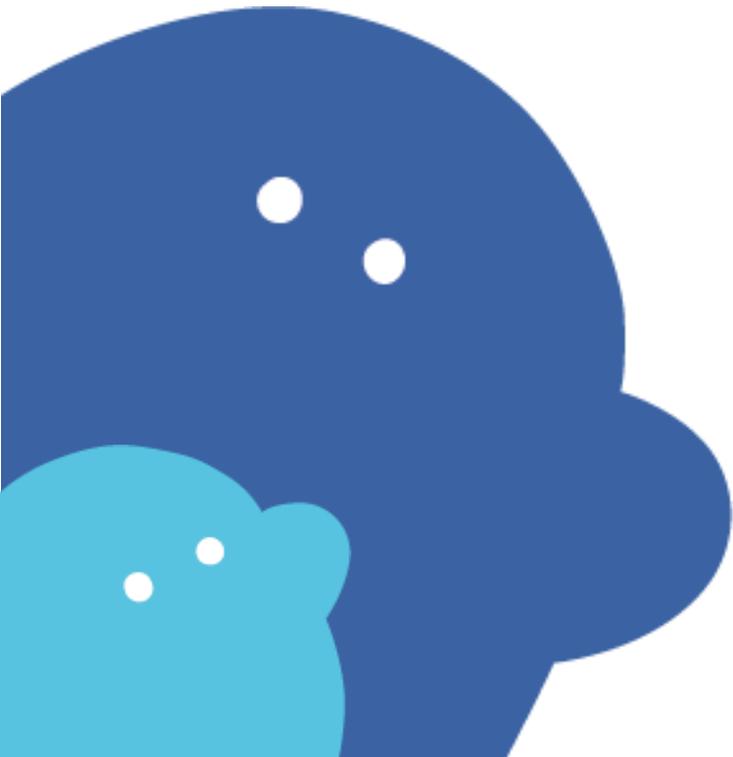


【海外】AIRA&AIFUL（個人向けローン/タイ王国）

- 店舗コストや人件費などの固定費を削減し、利益率が改善
- 優良債権に絞った貸付と回収環境の良化が続く見通しにより、計画以上の利益進捗見込

(百万円) (百万バーツ)	24/6	25/3	25/6	前年同期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業貸付金残高	35,795 (8,604)	39,864 (8,591)	37,200 (8,454)	3.9% (-1.7%)	34,300 (7,800)	-14.0% (-9.2%)
新規獲得件数（件）	9,545	43,103	4,672	-51.1%	24,000	-
人員数（人）	627	633	361	-266	-	-
店舗数（店）	45	43	20	-25	-	-
営業収益	1,977 (474)	8,395 (1,952)	2,223 (495)	12.4% (4.4%)	8,400 (1,900)	0.0% (-2.7%)
営業利益	-628 (-150)	-1,175 (-273)	-248 (-55)	- (-)	-600 (-130)	-
経常利益	-627 (-150)	-1,171 (-272)	-246 (-55)	- (-)	-600 (-130)	-
当期純利益	-529 (-126)	-1,034 (-240)	-218 (-48)	- (-)	-800 (-180)	-
為替レート (BS)	4.16円	4.64円	4.40円	-	4.40円	-
(PL)	4.17円	4.30円	4.49円	-	4.42円	-



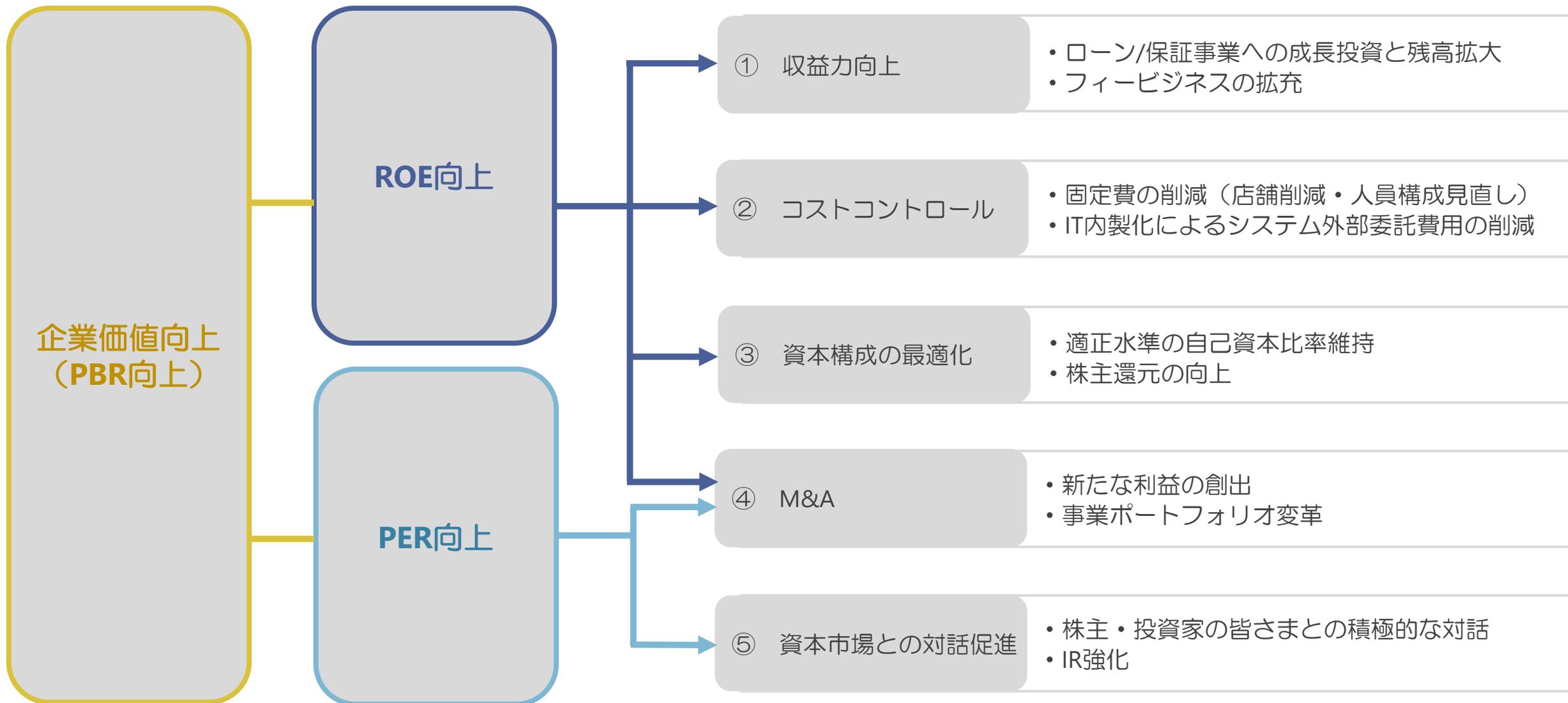


5 參考資料



企業価値向上に向けた取り組み

中期経営計画の各種施策を実現することで、ROEとPERの両指標を向上させる





M&Aのターゲット

- 親和性があり、ロールアップなどでバリューアップが見込める先
- 金融事業を主軸にグループのノウハウが活用できる先

国内・海外

M&A ターゲット

✓ ノンバンク領域全般

- ローン事業 + 保証事業
- ペイメント事業
- その他金融事業領域

✓ 既存ビジネスへの親和性

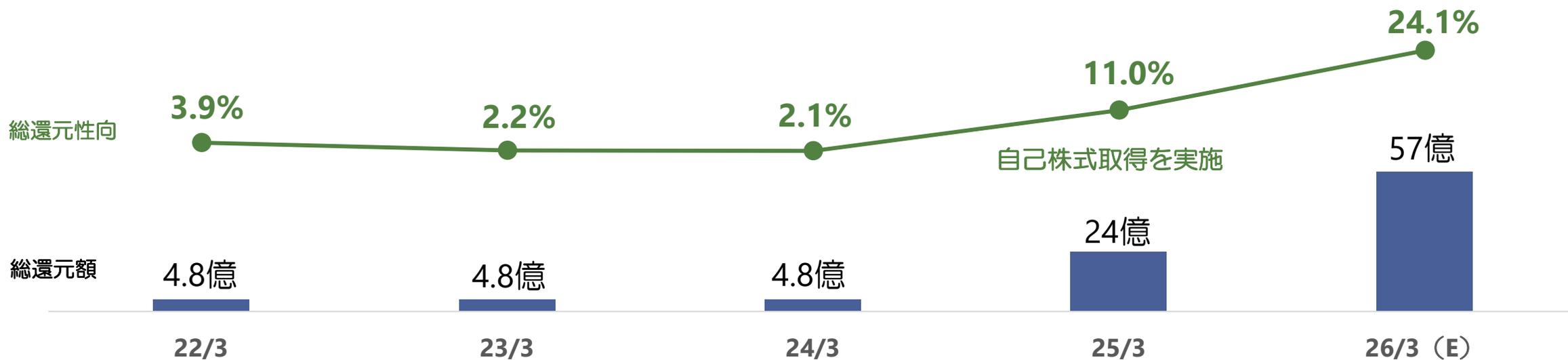
- SES事業
- 不動産関連事業
- その他親和性のある事業



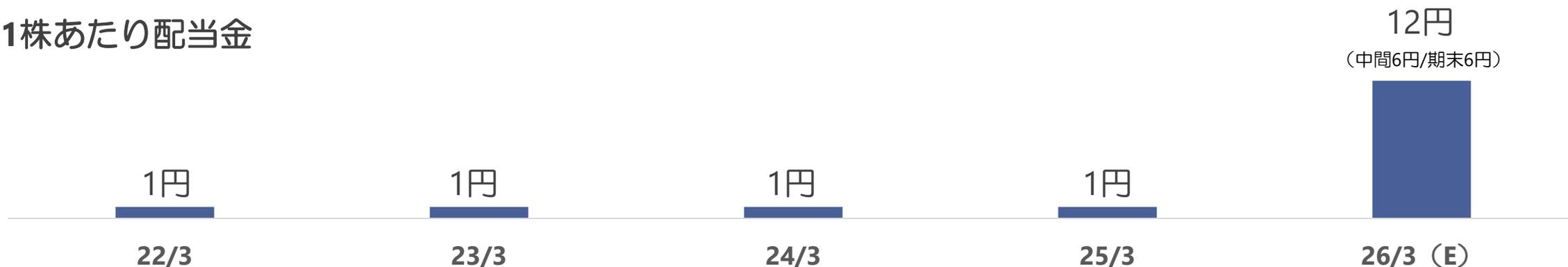
株主還元

総還元性向
20%程度予定

■ 総還元性向



■ 1株あたり配当金





無担保ローン市場

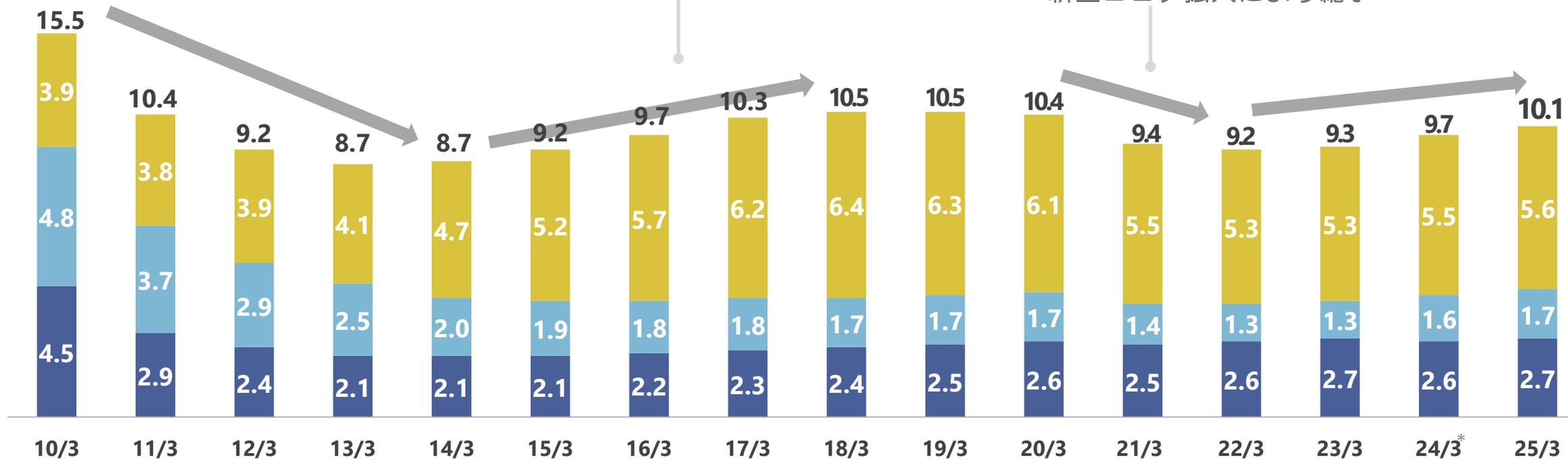
- 金融機関
- クレジットカード
- 消費者金融

(兆円)

貸金業法改正・利息返還問題

銀行カードローンが市場をけん引

新型コロナ拡大により縮小



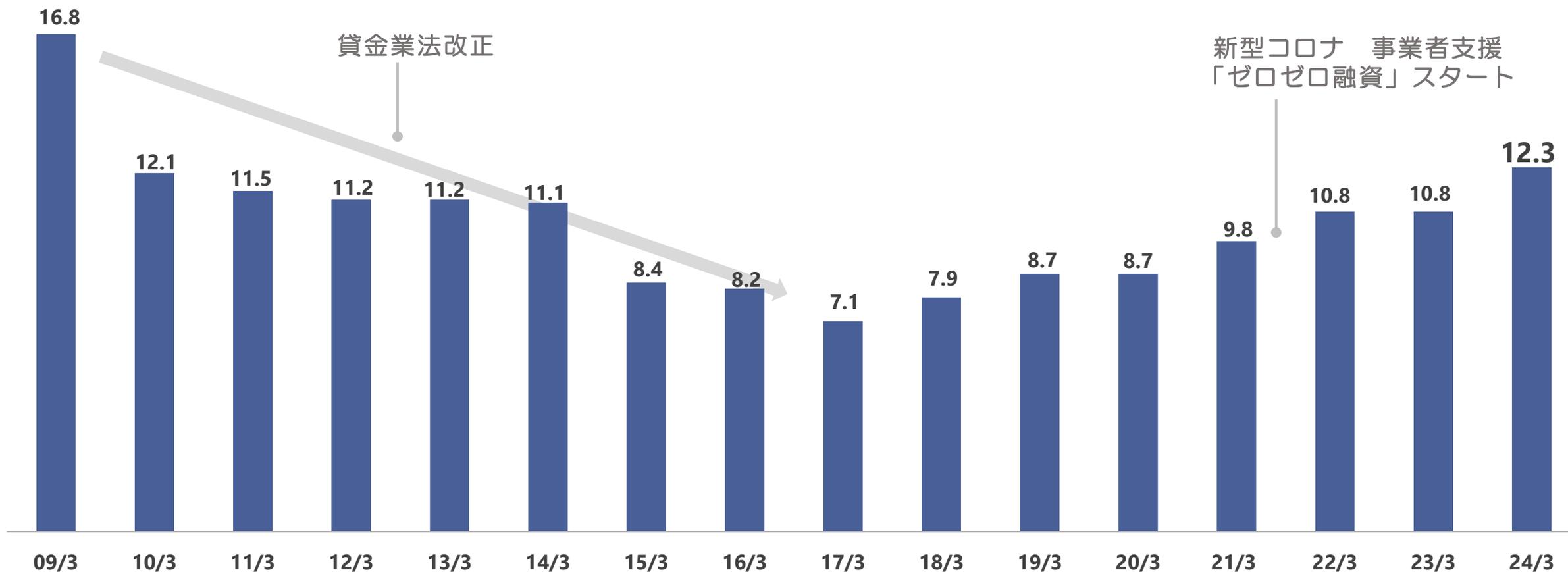
* 2023/7 約3,000億円の残高を保有する消費者金融業者がクレジットカード業態に移行

出典：消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計、金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）



事業者ローン市場

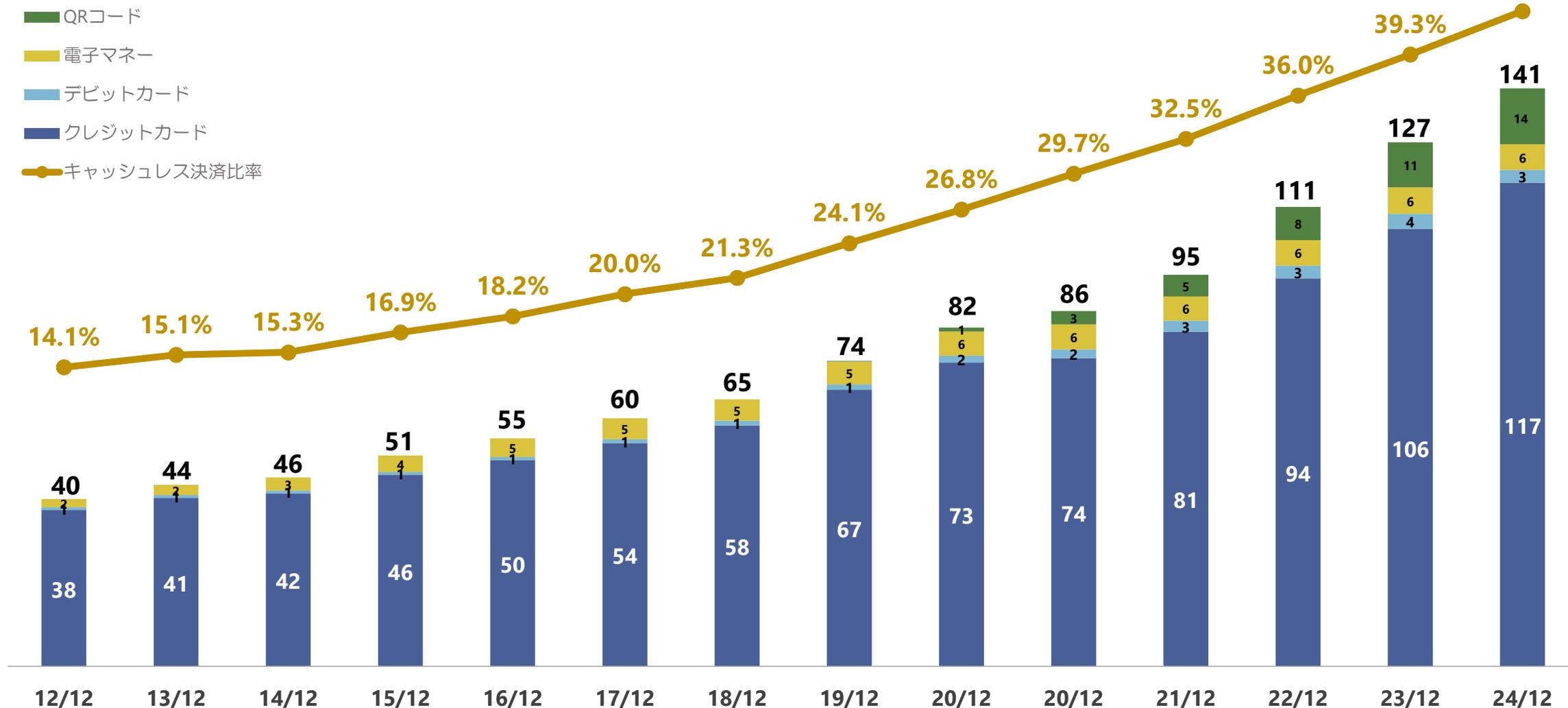
(兆円)





キャッシュレス市場

(兆円)





アイフルグループの事業

ローン・保証



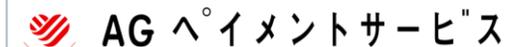
事業者ローン



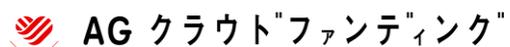
クレジット・電子マネー



個別信用購入斡旋・後払い決済



クラウドファンディング



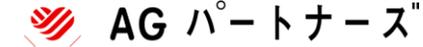
ベンチャーキャピタル



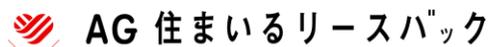
サービサー



企業再生



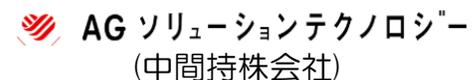
リースバック・家賃保証



少額短期保険



システム・エンジニアリング・サービス



海外



(インドネシア共和国)



(フィリピン共和国)





— 本資料に関する注意事項 —

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。

